はじめに

このたび、令和７（2025）年度の美術館活動をまとめた『岐阜県美術館年報42号・研究紀要10号』を発行いたします。

令和７年度は、春に日本有数の美人画蒐集家のご協力により「培広庵コレクション　美人画の雪月花」を、夏には建て替えのために休館中の東濃地域の博物館と協力した「古墳時代から織部、そして現代へ―土岐市美濃陶磁歴史館の名品と土岐市の寺社の文化財―」を、秋に国立アートリサーチセンター、国立工芸館との協働による「大正・昭和‘モード’の源泉―国立美術館コレクション・ダイアローグ」を企画展として開催しました。年度末からは「―モンスーンに吹かれたように―大移動と交流のアフリカ-アジアの現代美術」が開幕しました。11回目を迎える「アートまるケット」では、館長の日比野克彦がルドンコレクションを活用し国内外でフランスと交流しました。「グラフィックデザインの曙展―加藤孝司とシルクスクリーン」では、所蔵資料の探求から地域の文化産業史を明らかにしました。

併せて、当館の活動の基盤となる所蔵品展では、地域に関わり、魅力的かつ話題性のある特徴的な展示が行われ、夏に開催した１か月限定の「ふらっとぱ～く：見る、触れる、話す、感じる、考える」は新たな試みとして好評を博しました。

作品収集においては、山本芳翠やオディロン・ルドンをはじめとする貴重な作品を収集することができました。関係の方々のご厚意に心より御礼申し上げます。

教育普及活動では、当館の特徴であるナンヤローネ・プロジェクトの一環として、恒例のアートアクションやアートツアーを実施しました。また、学校教育の校外学習をはじめ多くの機関に団体鑑賞を利用いただきました。アートコミュニケーター「～ながラー」も引き続き活発に活動を行い、交流の場を生み出しています。

当館の運営を支えてくださいました多くのみなさまに深く感謝を申し上げますとともに、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和８年10月

岐阜県美術館

1 展示事業

1-1 所蔵品展示

生誕120年　矢橋六郎とその時代
2025/4/8 [火] – 7/13 [日]

岐阜県大垣市出身の画家矢橋六郎（1905-1988）の生誕120 年を記念した特集展示。矢橋は東京美術学校で学んだ後、国画会に参加、その後、村井正誠らと共にシュルレアリスムや抽象美術を積極的に取り入れた新しい美術運動を推進する団体として1937年に「自由美術家協会」、1950年には「モダンアート協会」の設立に参画した。また、東海圏を中心に建造物のモザイク壁画を多く手掛けたことでも知られる。晩年は大学教員として美術教育に尽力し、故郷の振興にも大きく貢献した。
本展示では、共に活動した作家たちの作品とあわせて、矢橋六郎の画業を岐阜県美術館コレクションにより振り返る機会とした。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室1a
・出品点数：28点
・観 覧 料：一般340（280）円、大学生220（160）円、
　　高校生以下無料
　　（　）内は20人以上の団体割引料金

作品リストは11ページ





マルク・シャガール《サーカス》／近代ドイツ版画
2025/4/8 [火] – 7/13 [日]

マルク・シャガール（1887-1985）は、ロシア帝国内のヴィテブスクに生まれ、ロシア・フランス・アメリカを行き来しながら、「愛」や「幻想」をテーマとする色鮮やかな具象画を多く手掛けた。前期展示では、彼が約40年かけて構想を練り、80歳の年に出版された版画連作『サーカス』全38点を展示した。
後期展示では、カール・シュミット＝ロットルフやエーリッヒ・ヘッケルら表現主義の作家を中心に、19世紀末から20世紀初頭に活躍したドイツ人作家らによる版画作品を紹介した。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室1b
・出品点数：65点
・観 覧 料：一般340（280）円、大学生220（160）円、
　　高校生以下無料
　　（　）内は20人以上の団体割引料金

作品リストは11ページ



象徴主義からナビ派まで
―ルドンと19世紀フランスの画家たち

2025/4/8 [火] – 7/13 [日]

当館は、19世紀後半から20世紀前半にかけてフランスを中心に活動した画家オディロン・ルドン（1840-1916）の作品を重点的に収集しており、そのコレクションは世界有数のものとして知られている。
本展示では、眼に見えない人間の内面世界を視覚化しようとした象徴主義から、それらの影響を受けた総合主義やナビ派まで、20世紀以降の多彩な芸術運動の素地を築きあげた19世紀末のフランス芸術を、ルドンを中心に紹介した。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室1c
・出品点数：16点
・観 覧 料：一般340（280）円、大学生220（160）円、
　　高校生以下無料
　　（　）内は20人以上の団体割引料金

作品リストは12ページ



美を纏う
朝長染織コレクションを中心に

2025/5/1 [木] – 7/13 [日]

2020年、着物愛好家である朝長義子氏より鎌倉芳太郎、志村ふくみ、土屋順紀などの染織作家作品12点が寄贈された。
本展示では朝長染織コレクションのお披露目として「美を纏う」をテーマに同コレクションならびに所蔵工芸作品を中心に展示した。身体を色や文様でつつみこむ着物、室内で香を焚くための道具、客人をもてなすための茶碗や水指など、日本では古来よりその身に、室内に美を纏わせてきた。四季折々の豊かな自然、あるいは物語から紡ぎ出された作品の数々を2期に分けて紹介した。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室1d
・出品点数：49点
・観 覧 料：一般340（280）円、大学生220（160）円、
　　高校生以下無料
　　（　）内は20人以上の団体割引料金

作品リストは13ページ





岐阜県美術館　コレクション名品選

2025/7/24 [木] – 11/3 [月・祝]

本展示では、同時期に開催された岐阜県青少年展、ぎふ美術展、ねんりんピックへの来訪者に岐阜県美術館の名品を鑑賞いただけるよう、日本画、国内・西洋絵画コレクションを代表する作品を紹介した。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室1ab
・出品点数：32点
・観 覧 料：一般340(280) 円、大学生220(160) 円
　　高校生以下無料
　　(　) 内は20人以上の団体割引料金

作品リストは14ページ





塔本シスコの花鳥苑

2025/7/24 [木] – 11/3 [月・祝]

塔本シスコ（1913-2005）は、熊本県八代郡郡築村（現・八代市）に生まれ、表現者としては無垢の状態で50代で本格的に油絵を描きはじめ、その後91歳で亡くなるまで、身の周りに生きる動植物を独自の視点で自由奔放に描いた。
本展示では、2022年に当館で開催した「塔本シスコ　シスコ・パラダイス かかずにはいられない！人生絵日記」展を契機として当館のコレクションおよび寄託となった14点を改めて一堂に公開した。自身のなかにある世界が際限なく広がっていくイメージは圧倒的で、生命感溢れる「シスコのにわ」は再び感動をよんだ。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室1c
・出品点数：14点
・観 覧 料：一般340(280) 円、大学生220(160) 円
　　高校生以下無料
　　(　) 内は20人以上の団体割引料金

作品リストは15ページ



ふらっとぱ〜く：
見る、触れる、話す、感じる、考える

2025/9/5 [金] － 10/5 [日]

コレクションを活用した 1 か月限定の展覧会。会場は①付箋を通して作品の感想を交流し合うエリア、②所蔵品の3DCGコンテンツをAR（拡張現実）で楽しむエリア、③作品に直接触れることができるエリア、④アートコミュニケーション作品「Such Such Such」を楽しむエリアの4つに分かれ、参加型の鑑賞体験を提供した。展示室内では、静かに集中して作品鑑賞を行うだけでなく、肩の力を抜いて会話しながら公園のように歩き回ることができ、にぎやかな雰囲気の中で、幅広い年齢層の来場が見受けられた。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室3
・出品点数：34点
・観 覧 料：一般340(280) 円、大学生220(160) 円
　　高校生以下無料
　　(　) 内は20人以上の団体割引料金

作品リストは16ページ



生誕120周年　坪内節太郎
／没後130周年　牧野伊三郎

2025/11/5 [水] － 2026/3/29 [日]

各務原市出身の坪内節太郎（1905-1979）は春陽会で中川一政や河野通勢の指導を受け、また木村荘八らと交友を深めた。彼らは油彩画をメインとしながら、同時に水墨がもつ情趣に惹かれ、坪内もまた、戦後に行動美術会へと発表の場を移しながらも、墨彩画の世界へと傾倒していった。本展示では生誕120周年を記念し、油彩画、水墨画、素描を中心に紹介した。
同時開催として、早逝の洋画家、中津川市出身の牧野伊三郎（1870-1895）を特集した。牧野は、18歳頃に洋画家を志して上京し、画塾不同舎で小山正太郎に師事し、中村不折や岡精一らと共に学んだ。その後、明治美術会通常会員となるが、胸を患い、わずか24歳で亡くなった。本展示では、没後130年を記念し、初期の素描と晩年の油彩により、洋画に捧げた真摯な視線に迫った。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室1a
・出品点数：78点
・観 覧 料：一般340(280) 円、大学生220(160) 円
　　高校生以下無料
　　(　) 内は20人以上の団体割引料金

作品リストは17・18ページ



ルドンと音楽

2025/11/5［水］– 2026/3/29［日］

当館は世界有数のルドンコレクションを収蔵している。本展示では、幼少期からピアノやバイオリンを演奏するなど音楽愛好家でもあったルドンが音楽から得たインスピレーションやモティーフを表現した作品を特集し紹介した。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室1b
・出品点数：41点
・観 覧 料：一般340（280）円、大学生220（160）円、
　　高校生以下無料
　　（　）内は20人以上の団体割引料金

作品リストは18ページ





見慣れない風景

2025/11/5［水］– 2026/3/29［日］

絵画や写真における「風景」を、現実の再現にとどまらず、私たちの知覚や認識を問い直す主題として再考を試みた作品を特集した。クリストは、建築やモニュメントを布で包むことで日常的な風景を一変させ、荒川修作は養老天命反転地（岐阜県養老郡）において、のどかな養老山地を背景に一般的な生活感覚を再考させるような場を構想するなど、作家ごとの多様な表現が提示された。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室1c
・出品点数：27点
・観 覧 料：一般340（280）円、大学生220（160）円、
　　高校生以下無料
　　（　）内は20人以上の団体割引料金

作品リストは19ページ



グラフィックデザインの曙 ―加藤孝司とシルクスクリーン

2025/11/26 [水] - 2026/3/15 [日]

加藤孝司（1916-98）は岐阜市に生まれ、幾何学的なデザインと鮮やかな色面構成を特徴としたグラフィックデザイナーの魁である。地元有力企業や百貨店のポスターを手掛け、日本宣伝美術会の主要メンバーとして全国的に活動した。
本展では、謄写版（ガリ版）原紙の流れを汲み発展したシルクスクリーン（グランド印刷）の関係に注目し、ガリ版文化史を入口に、岐阜のものづくりを集結した文化産業としてのグランド印刷を明らかにした。当館所蔵のポスター作品に加え、藤井光による最後の蝋引き職人の映像化、県内企業等の協力を得て総数200点近くにも及ぶ資料・作品を集めて展示し、地場産業と美術の強い結びつきを改めて示す機会となった。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室2
・出品点数：195点
・観 覧 料：一般340（280）円、大学生220（160）円、
　　高校生以下無料
　　（　）内は20人以上の団体割引料金

作品リストは20ページ





ぎふの日本画　冬来たりなば 春遠からじ ―岐阜県ゆかりの画家が描いた花鳥―

2025/12/2 [火] - 2026/3/29 [日]

岐阜県ゆかりの日本画家の系譜を辿るシリーズの第6回目。当館の日本画コレクションの中から、初春から春にかけて見頃を迎える植物や、姿を現す鳥を描いた作品を特集して紹介した。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室1d
・出品点数：34点
・観 覧 料：一般340（280）円、大学生220（160）円、
　　高校生以下無料
　　（　）内は20人以上の団体割引料金

作品リストは27ページ





アートまるケット
おうちに居ながラー美術館
拡張現実で収蔵作品鑑賞

展示室を飛び出して岐阜をアートでいっぱいにするシリーズ企画「アートまるケット」。アーティスト鈴木一太郎が所蔵作品を3DCG化し、AR（拡張現実）を活用して作品鑑賞する企画として2020年度から始まった。スマートフォン等を用いて、自宅に居ながら所蔵作品を楽しむことができる。
今年度は「ふらっとぱ〜く あんこーる！ 〜ARで作品鑑賞〜」と題し、多目的ホールと庭園で3DCG作品に囲まれる体験型イベントを行った。

・東正之《青釉壺》
・伊藤慶二《面》
・加藤孝造《瀬戸黒茶盌》
・川合玉堂《夏富士》
・窪田喜作《水汲み》、《武者姿立像》
・酒井博司《藍志野壺》
・鈴木藏《志野茶碗》
・土屋禮一《牡丹図》
・徳田隣斎《武陵桃源》
・長谷川喜久《刻　刻々》
・日比野克彦
《PRESENT AIRPLANE》、《SHOE》、《SHINJUKU SPECIAL》、《SWEATY JACKET》、《ERROR》、《WEDDING CAKE》
・山田光《消えゆく 1》
・山本芳翠《浦島》、《裸婦》
・横山大観《月明（前赤壁）》
・エミール＝アントワーヌ・ブールデル《アポロンのマスク》
・アリスティド・マイヨール《地中海》
・オディロン・ルドン《オフィーリア》、《オルフェウスの死》
・ピエール＝オーギュスト・ルノワール
《勝利のヴィーナス》、《泉》
・オーギュスト・ロダン《イヴ》
・ラリッサ・サンスール《歴史修正主義の皿》

生誕120年　矢橋六郎とその時代

2025年4月8日(火) から7月13日(日) まで
＊印は寄託作品

作家名		作品名	制作年	技法・素材
長原孝太郎		残菊	1928	油彩、画布
藤島武二		公子像	1920頃	油彩、板
矢橋六郎		発掘	1937	油彩、画布
		母子像	1940	油彩、画布
		ぼたん	1950	油彩、画布
		レッスン	1955	油彩、画布
		家が建つ	1958	油彩、画布
		美人コンクール	1959	油彩、画布
		田圃の雪降り(雪の降る田圃)	1961	油彩、画布
		春の田圃	1962	油彩、画布
		水汲み女　インドの旅より	1969	油彩、画布
		スペイン広場	1977	水彩、紙
		メヂチ家(フローレンス)	1977	水彩、紙
		ミコノスタ照	1979	油彩、画布
		黒いシミーズ	1978	油彩、画布
		タオルミナにて(シシリー島)	1980	水彩、紙
		ポルトガルの夏	1980	油彩、画布
		ベニス、サンサルーテの夕	1980	水彩、紙
		ベニスの朝(サン・ジョルジョ)	1980	水彩、紙
		淡墨桜	1981	油彩、画布
難波田龍起		生	1960-62	油彩、画布
村井正誠		青の斑点	1956	油彩、画布
		人	1963	油彩、画布
山口薫		画室の森	1949	油彩、画布
瑛九		海	1950	油彩、画布
麻生三郎	＊	裸女	不詳	油彩、画布
執行正夫		作品	1956	油彩、画布
勝呂忠		石の顔	1956	油彩、画布

マルク・シャガール《サーカス》/ 近代ドイツ版画

2025年4月8日(火) から7月13日(日) まで
○印は6月1日(日) まで、●印は6月3日(火) から展示

作家名		作品名	制作年	技法・素材
【マルク・シャガール《サーカス》】				
マルク・シャガール	○	『サーカス』	1967	リトグラフ、紙
【近代ドイツ版画】				
ロヴィス・コリント	●	『ヴァルヘン湖畔にて』	1920	エッチング、紙
ケーテ・コルヴィッツ	●	耕す男たち	1906	エッチング、アクアティント、紙
エミール・ノルデ	●	ハンブルク、波止場	1910	エッチング、紙
エルンスト・バルラッハ	●	『神の変容』II. 大聖堂	1920-21	木版、紙
パウラ・モーダーゾーン=ベッカー	●	森の中の盲目の女(ピアノを弾いている女)	1900頃	エッチング、アクアティント、紙
エーリッヒ・ヘッケル	●	祈る女	1908	木版、紙
	●	男の肖像	1919	リトグラフ、紙
カール・シュミット=ロットルフ	●	『シュミット=ロットルフ木版画集』全10点	1918	木版、紙
マックス・ベックマン	●	気球のある風景	1918	ドライポイント、紙
	●	あくびをする人々	1918	ドライポイント、紙
	●	路面電車の中で	1922	ドライポイント、紙

象徴主義からナビ派まで
―ルドンと19世紀フランスの画家たち

2025年4月8日(火) から7月13日(日) まで
○印は6月1日(日) まで、●印は6月3日(火) から展示

作家名		作品名	制作年	技法・素材
ギュスターヴ・モロー		ピエタ	1854	油彩、画布
		聖セバスティアヌスと天使	1876頃	油彩、画布
オディロン・ルドン	○	『起源』Ⅳ.セイレーンは無数の針をつけて波間から現れた	1883	リトグラフ、紙
	●	光の横顔	1886	リトグラフ、紙
		薔薇色の岩	1880頃	油彩、画布
		カインとアベル	不詳	油彩、画布
		ファエトンの墜落	1905-06頃	油彩、板
		アポロンの戦車	1906-07頃	油彩、画布
		騎馬兵の戦い	1910頃	油彩、画布
ポール・ゴーギャン	○	洗濯女たち	1889	ジンコグラフ、紙
	●	ステファーヌ・マラルメの肖像	1891	エッチング、ドライポイント、エングレーヴィング、紙
エミール・ベルナール		ポンタヴェンの市場	1888	油彩、画布
モーリス・ドニ		なでしこを持つ若い女	1896	油彩、画布
アリスティド・マイヨール		山羊飼いの娘	1890頃	油彩、画布
ポール・セリュジエ		森の中の焚火	1889-90頃	油彩、画布
		消えゆく仏陀―オディロン・ルドンに捧ぐ	1916	油彩、画布



美を纏う　朝長染織コレクションを中心に

2025年5月1日(木) から7月13日(日) まで
□印は個人蔵 ○印は6月15日(日) まで、●印は6月17日(火) から展示

作家名		作品名	制作年	技法・素材
岩田藤七	●	貝	1976	宙吹き、色ガラス
荒川豊藏	○	志野牡丹香合	1954頃	志野、陶器
	○	志野蟹香合	1964	志野、陶器
		染付流水図長角皿	1971頃	染付、磁器
	○	志野筍香合	1973	志野、陶器
	○	黄瀬戸花入 銘霹靂	1976	黄瀬戸、陶器
各務鑛三	●	飾皿 銘祈り	1929	グラヴュール、クリスタルガラス
	●	瓜文皿	1937-38頃	グラヴュール、被せガラス、クリスタルガラス
	○	花器 銘春陽	1972	グラヴュール、宙吹き、クリスタルガラス
	○	笹文花器	1972	グラヴュール、宙吹き、クリスタルガラス
鎌倉芳太郎	●	型絵段染山水文着物	1975以降	型絵染、絹
小山冨士夫	○	宋赤絵風色絵花茶碗	1969	色絵、陶器
塚本快示		白瓷鳥刻文大皿	1978	白瓷、磁器
宗廣力三		初期郡上紬裂地	1955-1970頃	紬、絣、絹
	●	赤茶地花織着物	1970	花織、紬、絹
	●	藍地麦文様絣着物	1977	紬、絣、絹
	○	どぼんこ染黄地立涌文様絣着物	1983	どぼんこ染め、絣、紬、絹
	○	藍地縞に丸文様絣着物	1985	紬、絣、絹
加藤卓男		三彩花器 銘爽容	1990	三彩、陶器
志村ふくみ	○	紬紅格子着物	不詳	紬、絣、絹
岩田久利	○	白硝流影文壺	1989	宙吹き、色ガラス
鈴木藏	□	志野香炉	2020	志野、陶器
北村武資	●	上代羅帯	不詳	羅、絹
加藤孝造		志野陶筥	1980	志野、陶器
		瀬戸黒茶碗	2017	瀬戸黒、陶器
吉田喜彦	□	志野蓋物	1994	志野、陶器
豊場惺也		黄瀬戸花生	不詳	黄瀬戸、陶器
郡上紬(宗廣陽助)	○	藍地縞やたら絣着物	1980-2000	紬、絣、絹
	●	白茶地縞やたら絣着物	1980-2000	紬、絣、絹
土屋順紀	●	紬着物「熊野」	1984	紬、絣、絹
	○	紬着尺「竹若」	1988	紬、絣、絹
	○	紬着物「今若」	1990	紬、絣、絹
	○	紬着物「日月」	1991	紬、絣、絹
	□	紬裂地「椿」	1991	紬、絣、絹
	□	紬裂地「敦盛」	1992	紬、絣、絹
	□	紬裂地「鹿の音」	1992	紬、絣、絹
	□	紬裂地「鶴の羽」	1992	紬、絣、絹
	○	紬着物「花子」	1992	紬、絣、絹
	□	生絹裂地「水月」	1995	絣、絹
	□	生絹裂地「鮎の瀬」	1996	絣、絹
	□	紬裂地「翠露」	1997	紬、絣、絹
	●	生絹着物「細氷」	1997	絣、絹
	●	紗着尺「細ら川」	1998	紗、絹
	○	紬着物「鶯声」	2009	紬、絣、絹
	●	紋紗着物「妙音」	2010	紗、絣、絹
	□	紋紗裂地「秋粧」	2011	紋紗、絣、絹
東正之	●	青釉壺	2014	青釉、陶器
四代 田辺竹雲斎(小竹)		つながり―現在心・過去心・未来心	2013	黒竹、真竹

岐阜県美術館コレクション名品選

2025年7月24日(木) から11月3日(月・祝) まで
○印は9月15日(月) まで、●印は9月17日(水) から展示

作家名		作品名	制作年	技法・素材
【展示室1a：日本画コレクションから】				
川合玉堂	●	錦秋	1905	絹本着色
前田青邨	●	応永の武者	1947	絹本着色
	○	ラ・プランセス	1957	紙本着色
伊東深水		鏡	1947	絹本着色
加藤栄三	○	空	1958	紙本着色
加藤東一	○	白夜	1969	紙本着色
	●	ある行進	1974	紙本着色
土屋禮一	●	雲	1995	紙本着色
【展示室1a：国内絵画コレクションから】				
熊谷守一		ヤキバノカエリ	1956	油彩、画布
岸田劉生		自画像	1914	油彩、画布
坂井範一		水	1960頃	油彩、画布
坪内節太郎		松かさ鮒	1976	油彩、画布
矢橋六郎		ミコノスタ照	1979	油彩、画布
村井正誠		月の出	1995	油彩、画布
靉光		花園　【登録美術品】	1940	油彩、画布
篠田桃紅		遠つ代	1964頃	墨、銀泥、画布
坂倉新平		ブルーの根源-1	1998	油彩、画布
【展示室1b：西洋美術コレクションから】				
ギュスターヴ・モロー		ピエタ	1854	油彩、画布
オーギュスト・ロダン		イヴ	1883頃	大理石
オディロン・ルドン		神秘的な対話	1896頃	油彩、画布
		眼をとじて	1900以降	油彩、画布
	●	野の花の花瓶	1900-05頃	パステル、紙
	○	花	1905-10頃	油彩、画布
		窓	1906頃	油彩、画布
		アポロンの戦車	1906-07頃	油彩、画布
ピエール＝オーギュスト・ルノワール		泉	1910頃	油彩、画布
ポール・セリュジエ		急流のそばの幻影または妖精たちのランデヴー	1897	油彩、画布
エミール・ベルナール		ポンタヴェンの市場	1888	油彩、画布
ジョルジュ・ブラック		緑の円卓	1943頃	油彩、画布
藤田嗣治(レオナール・フジタ)	●	十字架の見える風景	1920頃	油彩、画布
		夢	1925	油彩、画布
ジョアン・ミロ		人と月	1950	油彩、画布

塔本シスコの花鳥苑

2025年7月24日(木) から11月3日(月・祝) まで
＊印は寄託作品

作家名		作品名	制作年	技法・素材
塔本シスコ	＊	シスコの女神	1961年頃	石
		桜島	1970-1988	油彩、画布
	＊	造幣局の桜	1987	油彩、画布
		ひまわりの中で インコ	1987	油彩、画布
		タチアオイ(朝日)	1991	油彩、画布
	＊	山田池の春	1992	油彩、画布
	＊	白いサボテン	1993	油彩、画布
	＊	あそびにくるネコ	1996	油彩、板
	＊	枚方総合体育館前のコスモス畑	1996	油彩、段ボール
		アジサイの中で遊びなさい	1997	油彩、画布
	＊	山田池の春 シスコとハト	1999	油彩、画布
	＊	鳥の女神	2000	アクリル、陶
	＊	雲の鳥1	2001	油彩、フェルトペン、画布
	＊	シスコの月	2004	油彩、キャンバスボード





ふらっとぱ〜く：見る、触れる、話す、感じる、考える

2025年9月5日(金) から10月5日(日) まで

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法、素材
1. 意見交流エリア				
川﨑小虎	1886-1977	麦と野鼠 狸 そよふく風	1967 1965頃 1937	紙本着色 紙本墨画 紙本着色
小寺健吉	1887-1977	雪後の月	1973	油彩、画布
アンリ・ル・シダネル	1862-1939	月下の川沿いの家	1920	油彩、画布
佐藤昌宏	1954-	地のいきもの	2017	テンペラ、画布
ジム・ダイン	1935-	レッド・バスローブ Self Portrait: The Landscape	1969 1969	カラー・リトグラフ、紙 カラー・リトグラフ、紙
ジェームズ・アンソール	1860-1949	ひと騒がせな仮面	1895	エッチング、紙
ミノル・コリン	1949-	揺動する境界-1	1991-92	ミクストメディア
吉本作次	1959-	三人の聖人と三本の木	2010	油彩、テンペラ、水彩、画布
荒川修作	1936-2010	裏から表へ	1969	油彩、色鉛筆、画布
2. AR作品エリア				
エミール=アントワーヌ・ブールデル	1861-1929	アポロンのマスク	1900	ブロンズ
山田光	1923-2001	消えゆく1	1978	白化粧、陶
日比野克彦	1958-	WEDDING CAKE	1980	アクリル、色鉛筆、凧糸、紙、段ボール
3. さわる作品エリア				
天野裕夫	1954-	重厚地円大蛙	1996	陶、ブロンズ
川﨑小虎	1886-1977	おたまじゃくし	1940頃	紙本墨画
磯辺行久	1935-	WORK 64-16(雷神)	1964	ミクストメディア
田淵安一	1921-2009	雷雨	1961	油彩、画布
佐藤慶次郎	1927-2009	エレクトロニック ラーガ	1979	ステンレス、木、布、電気
柳原義達	1910-2004	風の中の鴉 風の中の鴉のためのデッサン	1981 1980	ブロンズ インク、紙
4.《Such Such Such》エリア				
遠藤利克	1950-	天使のためのプラン	1989	鉄、木、タール、煤、鉛、チョーク
奥村晃史	1972-	地上の食卓	2009	油彩、画布
坂倉新平	1934-2004	八月の海 夏のエネルギー 九月の波 九月の大地 内なる光ー地中海の朝	1973 1973 1973 1973 1992	リトグラフ、紙 リトグラフ、紙 リトグラフ、紙 リトグラフ、紙 油彩、画布
元永定正	1922-2011	せんとあかいろのかたち	1987	アクリル、画布
田中敦子	1932-2005	'83 B 1980-D4 1985-14 1984-34	1983 1980 1985 1984	油彩(合成樹脂エナメル塗料)、画布 グアッシュ、水性インク、紙 グアッシュ、水性インク、紙 コンテ、紙

没後130周年 牧野伊三郎

2025年11月5日(水) から2026年3月29日(日) まで
＊印は寄託作品 ○印は1月18日(日) まで、●印は1月20日(火) から展示

作家名		作品名	制作年	技法、素材
牧野伊三郎	＊	鎧の袖	1892頃	油彩、画布
		嘉七像	1892	油彩、画布
		にわとり	1893頃	油彩、紙
		嘉平治像	1894頃	油彩、画布
	○	素描		鉛筆、紙
	○	素描		鉛筆、紙
	○	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、紙
	○	素描		鉛筆、紙
	○	素描		鉛筆、紙
	○	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、紙
	○	素描		鉛筆、紙
	○	素描		鉛筆、紙
	○	素描		鉛筆、紙
	○	素描		鉛筆、水彩、紙
	○	素描		鉛筆、紙
	○	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、水彩、紙
	●	素描		鉛筆、紙
	○	素描		鉛筆、紙
	○	素描		鉛筆、紙
	○	素描		鉛筆、紙
	○	素描		鉛筆、紙
	○	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、紙
	●	素描		鉛筆、紙
【不同舎の師と同門たち】				
小山正太郎	○	野津中将青石関ヲ過ク(明治美術会通常会員による画帖『小宴紀念』より)	1894	水彩、ペン、紙
浅井忠	○	王師入遼東(明治美術会通常会員 による画帖『小宴紀念 』より)	1895	水彩、ペン、紙
本多錦吉郎	○	野路のむら雨(明治美術会通常会員 による画帖『小宴紀念 』より)	1895	水彩、紙
中村不折	●	裸婦立像	1903	油彩、画布
鹿子木孟郎	●	賀茂川	1928	油彩、画布
青木繁	●＊	海	1904	油彩、板

生誕120周年　坪内節太郎

2025年11月5日(水) から2026年3月29日(日) まで
○印は1月18日(日) まで、●印は1月20日(火) から展示

作家名		作品名	制作年	技法、素材
坪内節太郎		フタリ	1935	油彩、画布
		春	1939	油彩、画布
		葵上	1946	油彩、画布
		踴る	1949	油彩、画布
		少女	1954	油彩、画布
		青鎌倉	1961	油彩、画布
		冬日の菱	1961	油彩、画布
		民話	1962	油彩、画布
		熊野	1965	油彩、画布
		砂の花	1971	油彩、画布
		松かさ鮒	1976	油彩、画布
	●	童女 冨貴讃	1960-70年代	紙本着色
	○	椿 萬葉集歌	1970年代	紙本着色
	●	福寿草 大乗十来の内三来	1970年代	紙本着色
	○	美女観音 香ひの狩猟者	1978	紙本着色
	●	鮒 良寛詩	1978	紙本着色
	○	あまりりす 萬葉集歌		紙本着色
		萬葉扇面図	1967	紙本着色
	●	菅原伝授手習鑑 加茂堤の場		紙本着色
	○	源平布引滝		紙本着色
	○	絵本太功記 妙心寺の場		紙本着色
	●	艶容女舞衣 お園		紙本着色
	○	ひらかな盛衰記 逆艫の場		紙本着色
	○	戻橋		紙本着色
	●	義経千本桜 釣瓶鮓屋の場 いがみの権太		紙本着色
	○	義経千本桜 碇知盛入水		紙本着色
	○	奥州安達原 袖萩とお君		紙本着色
	●	神霊矢口渡		紙本着色
	●	仮名手本忠臣蔵		紙本着色
	●	恋飛脚大和往来 新口村	1964	紙本着色
	●	国姓爺合戦 和藤内		紙本着色
	●	菅原伝授手習鑑 寺子屋の場	1960-70年代	紙本着色
	○	本朝廿四孝 狐火の場		紙本着色
	●	勧進帳		紙本着色

ルドンと音楽

2025年11月5日(水) から2026年3月29日(日) まで
○印は1月18日(日) まで、●印は1月20日(火) から展示

作家名		作品名	制作年	技法素材
オディロン・ルドン	○	石版画集『夢のなかで』	1879	リトグラフ、紙
	●	石版画集『夜』	1886	リトグラフ、紙
	○	ブリュンヒルデ	1886	リトグラフ、紙
	●	パルジファル	1892	リトグラフ、紙
	●	ブリュンヒルデ(神々の黄昏)	1894	リトグラフ、紙
	○	天上の芸術	1894	リトグラフ、紙
	●	年老いた騎士	1896	リトグラフ、紙
	●	エドゥアール・ヴュイヤール	1900	リトグラフ、紙
	●	ピエール・ボナール	1902	リトグラフ、紙
	●	ポール・セリュジエ	1903	リトグラフ、紙
	●	モーリス・ドニ	1903	リトグラフ、紙
	○	リカルド・ビニェス	1903	リトグラフ、紙
	○	風景		インク、紙
	○	ペイルルバードのポプラ		油彩、紙
	○	滞船		油彩、画布
	●	海浜の岩		油彩、画布
	●	風景		油彩、画布
	●	薔薇色の岩	1880頃	油彩、画布
	○	花の枠組みの中の左向きの横顔		木炭、紙
	○	手稿		木炭、チョーク、紙
		眼をとじて	1900以降	油彩、画布
		オフィーリア	1901-02頃	油彩、紙
	●	青い花瓶の花々	1904頃	パステル、紙
	○	黒い花瓶のアネモネ	1905頃	パステル、紙
		窓	1906頃	油彩、画布
		アポロンの戦車	1906-07頃	油彩、画布

見慣れない風景

2025年11月5日(水) から2026年3月29日(日) まで
○印は2026年1月18日(日) まで、●印は2026年1月20日(火) から展示
※1 2026年2月7日(土) まで展示、※2 2026年2月8日(日) より再展示

作家名		作品名	制作年	技法素材
岡田徹		風化する海(B)	1982	油彩、画布
クリスト	○	梱包されたヴィットリオ・エマヌエレの記念碑、ミラノ本寺前広場のためのプロジェクト	1975	紙、布、紐
	●			※前後期で4点ずつ入れ替え
荒川修作	○	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	色鉛筆、色紙
	●	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	ペン、紙
	○	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	ペン、トレーシング・ペーパー
	○	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	紙
	●※1	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	コンピュータグラフィックス、紙
	●	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	ペン、紙
	●	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	ペン、紙
	○※2	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	ペン、紙
	●	《養老天命反転地》のためのドローイング	1992-94頃	ペン、鉛筆、色鉛筆、コンピューター・グラフィックス、紙、トレーシング・ペーパー
	○	《養老天命反転地　オフィス》のためのドローイング	1995-96頃	ペン、鉛筆、色鉛筆、紙
	●	《養老天命反転地　オフィス》のためのドローイング	1995-96頃	ペン、鉛筆、色鉛筆、コピー紙
	●	《養老天命反転地　不死門》のためのドローイング	1995-96頃	ペン、鉛筆、トレーシング・ペーパー
	○	《養老天命反転地　極限で似るものの家》のためのコンピューター・グラフィックス	1992-94頃	コンピューター・グラフィックス、紙
櫃田伸也		風景の断片	1982	油彩、画布
榎倉康二	○	予兆ー鉛の塊・空間へ(1) (P.W.-No.41)	1972(プリント1995)	ゼラチン・シルヴァー・プリント、印画紙
	●	予兆ー鉛の塊・空間へ(3) (P.W.-No.43)	1972(プリント1995)	ゼラチン・シルヴァー・プリント、印画紙
パトリック・トザニ	○	高層都市	1983	チバクローム・プリント
	●	公共広場	1983	チバクローム・プリント



グラフィックデザインの曙―加藤孝司とシルクスクリーン

番号	作品名・資料名	作者・発行	制作年（西暦・和暦）		材質・技法（色版※3章のみ）	サイズ（cm）	所蔵
序章　孔版の世界にようこそ							
謄写版（ガリ版）からはじまった							
1	謄写版器　三元式R 堀井謄写版　規格A列3號版型	堀井謄写堂				33.8×55.7×13.0	大東化工株式会社
2	『大正十二癸亥年大震火災記』	堀井本家	1926	大正15・昭和元	謄写版印刷	31.0×23.8×5.0	大東化工株式会社
3	『孔版』1949年10月号	若山八十氏編集/日本孔版研究所	1949	昭和24	謄写版印刷	20.6×14.9	個人蔵
4	『孔版』1950年4月号	若山八十氏編集/日本孔版研究所	1950	昭和25	謄写版印刷	20.6×14.9	個人蔵
5	『孔版』1950年6月号	若山八十氏編集/日本孔版研究所	1950	昭和25	謄写版印刷	20.6×14.9	個人蔵
6	『グランド孔版絵本　くらげ物語』	若山八十氏/日本孔版研究所	1950	昭和25	謄写版印刷	21.0×15.0	個人蔵
7	『鏡絵本 双面』	若山八十氏/青園荘	1974	昭和49	総孔版画本	26.0×24.5	大東化工株式会社
8	謄写印刷の技術	全日本謄写印刷業連盟	1959	昭和34		映像12分12秒	日本グラフィックサービス工業会
9	鉄筆原紙の原料にする「雁皮」を干す		1936頃	昭和11頃	写真		大東化工株式会社
10	謄写版原紙の罫線印刷用活版印刷凸版					24.7×36.7×2.5	個人蔵
11	美濃手漉薄葉紙見本帳	丸十製紙化學工場	1954以前	昭和29以前	美濃手漉和紙	13.4×21.9	個人蔵
12	雁皮				樹皮	30.0×6.0×5.5	大東化工株式会社
13	やすり（OSHIMA最硬質ドラゴン鈩）					41.0×26.0×11.0	大東化工株式会社
14	飾やすり（王冠ヤスリ）					41.0×26.0×11.0	大東化工株式会社
15	磁器製代用鉄筆		1942頃	昭和17頃	磁器		大東化工株式会社
16	謄写版ヤスリ拡大模型（方眼目）	筑紫謄写堂	2025	令和7	レジン	15.0×8.0×1.2	筑紫謄寫堂
17	製版拡大模型（上部：ロウ原紙／下部：方眼目ヤスリ）	筑紫謄写堂	2025	令和7	レジン	15.0×9.0×2.3	筑紫謄寫堂
18	daito　STENCIL PAPERS 横型ケース		1962-2017頃	昭和37-平成29頃		24.0×50.0×2.0	大東化工株式会社
19	鉄筆　STYLUS　テーパーレス		1975-2003頃	昭和50頃-平成15頃			大東化工株式会社
20	インク（チューブ）		1975-2003頃	昭和50頃-平成15頃		23.0×8.5×6.0	大東化工株式会社
21	NHK台本用謄写版原紙、台本						大東化工株式会社
22	天空の城ラピュタ録音台本	徳間書店	1986	昭和61	ビデオ/レーザーディスク初回特典、徳間書店	B5判	大東化工株式会社
23	パラフィン						個人蔵
24	ダンマル						個人蔵
25	カルナマ						個人蔵
26	ガリ版原紙の現在	藤井光	2025	令和7		映像5分29秒	岐阜県美術館
27	謄写版原紙				美濃雁皮紙、蝋		個人蔵
岐阜の素材を応用して―シルクスクリーンへ							
28	スティックラック				木、ラックカイガラムシの分泌物		株式会社岐阜セラツク製造所

番号	作品名・資料名	作者・発行	制作年（西暦・和暦）		材質・技法（色版※3章のみ）	サイズ（㎝）	所蔵
29	シェラック樹脂						株式会社岐阜セラツク製造所
30	シェラックニス						株式会社岐阜セラツク製造所
31	シェラックニスを塗布したスクリーン原紙		2025	令和7			桜井株式会社提供、株式会社岐阜セラツク製造所
32	「高山」とカッティングされた版を貼ったシルクスクリーン枠						株式会社岐阜セラツク製造所
33	ラック染めの布・糸	カンボジア			シルク	41.0×41.0	株式会社岐阜セラツク製造所
スクリーンプリントの発想と現在							
35	薄型蚊取り線香		1970頃	昭和45頃	スクリーンプリント	14.5×14.5	株式会社ミノグループ
36	高級スポーツカーのメーターパネル		2000頃	平成12頃	スクリーンプリント	18.0×39.0	株式会社ミノグループ
37	化粧品のケース		2005頃	平成17頃	スクリーンプリント	6.5×6.0×2.2	株式会社ミノグループ
38	洗濯機のパネル		2015頃	平成27頃	スクリーンプリント	9.4×30.0	株式会社ミノグループ
39	キーボード回路		2015頃	平成27頃	スクリーンプリント	32.0×28.0	株式会社ミノグループ
40	スマートフォンの部品		2015頃	平成27頃	スクリーンプリント	11.2×5.5	株式会社ミノグループ
41	プリント基板		2025	令和7	スクリーンプリント	20.0×30.0	東海神栄電子工業株式会社製造、株式会社ミノグループ
1章　デザイナーの魁　加藤孝司							
戦前 ― 画工からの出発							
42	真心影流　清水虎之介門人諸流修行記	黒田孝作	1853-60	嘉永6-安政7年・万延元年		12.5×33.0	個人蔵
43	内閣情報部「寫真週報・週報」ポスター図案　結果通知		1938	昭和13			個人蔵
44	第11回産業美術振興運動展新聞広告部門公募　入賞記念		1942	昭和17			個人蔵
45 46	『華藍』創刊号、新年号	華藍会、小池光三、篠田一士 編	1945-46	昭和20-21	表紙：謄写版印刷		岐阜県図書館
196	第1回岐阜市展目録		1948	昭和23		27.0、19ｐ	岐阜県図書館
シルクスクリーン前夜 ― 手描きの初期作品							
47	みや美会	加藤孝司	1949	昭和24	アクリル	55.0×40.0	個人蔵
48	ぎふ鵜飼	加藤孝司	1955	昭和30	アクリル	103.0×72.8	個人蔵
49	長良川ホテル	加藤孝司	1955	昭和30	アクリル	103.0×72.8	個人蔵
シルクスクリーンと出合って ― アイデアの実験							
50	目の記念日	加藤孝司	1955	昭和30	シルクスクリーン	103.0×72.8	個人蔵
51	ぎふ鵜飼	加藤孝司	1959	昭和34	シルクスクリーン、アクリル	103.0×72.8	個人蔵
52	グランド印刷	加藤孝司	1959	昭和34	シルクスクリーン、アクリル	75.5×75.5	個人蔵
53	グランドインサツ	加藤孝司	1959	昭和34	シルクスクリーン	75.5×75.5	個人蔵
54	東海ラジオ	加藤孝司	1960	昭和35	シルクスクリーン	103.0×72.8	個人蔵
55	東海ラジオ	加藤孝司	1960	昭和35	シルクスクリーン	103.0×72.8	個人蔵
日宣美における活躍と大阪万博シンボルマークコンペ指名							
56	ボンネル	加藤孝司	1956	昭和31	シルクスクリーン	103.0×72.8	個人蔵
57	エンジェルレコード	加藤孝司	1958	昭和33	シルクスクリーン	103.0×72.8	個人蔵
58	olivetti red	加藤孝司	1960	昭和35	シルクスクリーン	103.0×72.8	個人蔵
59	olivetti pink	加藤孝司	1960	昭和35	シルクスクリーン	103.0×72.8	個人蔵
60	olivetti blue	加藤孝司	1960	昭和35	シルクスクリーン	103.0×72.8	個人蔵

番号	作品名・資料名	作者・発行	制作年（西暦・和暦）		材質・技法（色版※3章のみ）	サイズ（cm）	所蔵
61	グランド印刷	加藤孝司	1961	昭和36	シルクスクリーン	79.0×55.0	個人蔵
62	SNOW	加藤孝司	1961	昭和36	シルクスクリーン	76.6×72.5	個人蔵
63	SNOW	加藤孝司	1961	昭和36	シルクスクリーン	76.6×72.5	個人蔵
64	SNOW	加藤孝司	1962	昭和37	シルクスクリーン	103.0×72.8	個人蔵
65	グランド印刷	加藤孝司	1964	昭和39	シルクスクリーン	103.0×72.8	個人蔵
66	マッチ箱	加藤孝司/宮林道男	制作年不詳		オフセット	6.0×6.0	個人蔵
67	雪印タイプ原紙	加藤孝司	1964	昭和39	シルクスクリーン	103.0×72.8	個人蔵
68	グランド印刷	加藤孝司	1966	昭和41	シルクスクリーン	103.0×72.8	個人蔵
69	IBM	加藤孝司	1967	昭和42	シルクスクリーン	103.0×72.8	個人蔵
70	生物都市	加藤孝司	1968	昭和43	シルクスクリーン	103.0×72.8	個人蔵
71	大阪万博シンボルマークコンペ出品パネル	加藤孝司	1966	昭和41		73.0×52.0	個人蔵
72	大阪万博シンボルマークコンペ出品パネル	加藤孝司	1966	昭和41		73.0×52.0	個人蔵
73	「ベンテンドー」包装紙	マーク制作：加藤孝司	1955-65頃	昭和30-40頃		26.0×20.0	個人蔵
74	『デザイン』85号	美術出版社	1966	昭和41		29.5×22.5	個人蔵
75	第13回 日宣美展の審査		1963	昭和38	写真		TOPPANホールディングス株式会社 印刷博物館
76	『グラフィックデザイン』35号	グラフィックデザイン社	1969	昭和44		30.0×26.0	個人蔵
銀行の仕事							
77	1961JANUARY FEBRUARY	加藤孝司	1961	昭和36	シルクスクリーン	75.5×52.0	個人蔵
78	寅 '62賀正	加藤孝司	1962	昭和37	シルクスクリーン	65.8×51.7	個人蔵
79	1963あけましておめでとうございます	加藤孝司	1963	昭和38	シルクスクリーン	75.7×52.8	個人蔵
81	1964新年おめでとうございます	加藤孝司	1964	昭和39	シルクスクリーン	75.2×52.5	個人蔵
82	創立85周年定期積金	加藤孝司	1962	昭和37	シルクスクリーン	74.3×50.2	個人蔵
83	創立85周年SUMMER	加藤孝司	1962	昭和37	シルクスクリーン	75.5×51.0	個人蔵
84	SPRING	加藤孝司	制作年不詳		シルクスクリーン	76.5×52.2	個人蔵
85	オリンピック定期預金	加藤孝司	1963	昭和38	シルクスクリーン	75.5×51.5	個人蔵
86	目的預金	加藤孝司	制作年不詳		シルクスクリーン	77.0×51.0	個人蔵
87	定期預金	加藤孝司	制作年不詳		シルクスクリーン	74.5×50.4	個人蔵
88	おかげさまで創立95周年	加藤孝司	1972	昭和47	シルクスクリーン	82.8×58.3	個人蔵
89	期日指定積金	加藤孝司	制作年不詳		シルクスクリーン	75.8×51.8	個人蔵
90	普通預金	加藤孝司	制作年不詳		シルクスクリーン	74.5×51.5	個人蔵
91	マスコット貯金箱	加藤孝司	制作年不詳		シルクスクリーン	75.0×52.6	個人蔵
92	増資記念特別運動	加藤孝司	制作年不詳		シルクスクリーン	75.5×52.3	個人蔵
93	ハッピーサイン預金	加藤孝司	制作年不詳		シルクスクリーン	65.3×52.3	個人蔵
94	幸せをピックアップ	加藤孝司	制作年不詳		シルクスクリーン	74.3×51.2	個人蔵
2章　グラフィックデザイン×岐阜ゆかりのシルクスクリーン「グランド印刷」							
エフェメラの輝き－美濃紙業所のカレンダー							
95	美濃紙業所カレンダー1956前半（表紙/水仙）	川西英	1956	昭和31	グランド印刷	52.5×39.7	株式会社ミノグループ
96	美濃紙業所カレンダー1956前半（1月/オーケストラ）	川西英	1956	昭和31	グランド印刷	52.5×39.7	株式会社ミノグループ

番号	作品名・資料名	作者・発行	制作年（西暦・和暦）		材質・技法（色版※3章のみ）	サイズ（㎝）	所蔵
97	美濃紙業所カレンダー1956後半（表紙/日本庭園）	川西英	1956	昭和31	グランド印刷	52.5×39.7	株式会社ミノグループ
98	美濃紙業所カレンダー1956後半（表紙原画）	川西英	1956	昭和31		52.5×39.7	株式会社ミノグループ
99	美濃紙業所カレンダー1957前半（2月/雪の子）	森若正上	1957	昭和32	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
101	美濃紙業所カレンダー1957後半（8月/カラフルモザイク）	宇留河泰呂	1957	昭和32	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
102	美濃紙業所カレンダー1957後半（9月/裸婦）	宮永岳彦	1957	昭和32	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
103	美濃紙業所カレンダー1957後半（11月/木）	今竹七郎	1957	昭和32	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
104	美濃紙業所カレンダー1958前半（1月/鹿）	氏原忠夫	1958	昭和33	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
105	美濃紙業所カレンダー1958前半（2月/ouvert le printemps）	宇留河泰呂	1958	昭和33	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
106	美濃紙業所カレンダー1958前半（3月/線）	石川三友	1958	昭和33	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
107	美濃紙業所カレンダー1958前半（4月/渡り鳥）	crane	1958	昭和33	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
108	美濃紙業所カレンダー1958前半（5月/若葉の木と鳥）	山名文夫	1958	昭和33	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
109	美濃紙業所カレンダー1958前半（6月/緑グリッドに植物）	大智浩	1958	昭和33	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
110	美濃紙業所カレンダー1958後半（8月/草）	Y. kojima（小島康弘）	1958	昭和33	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
111	美濃紙業所カレンダー1958後半（9月/水紋）	粟津潔	1958	昭和33	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
197	美濃紙業所カレンダー1958後半（12月/サンタクロース）	横田昭次	1958	昭和33	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
112	美濃紙業所カレンダー1958後半（11月/編み物）	大智浩	1958	昭和33	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
113	美濃紙業所カレンダー1959前半（1月/トリス風）	柳原良平	1959	昭和34	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
114	美濃紙業所カレンダー1959前半（3月/白い仔馬）	西島伊三雄	1959	昭和34	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
115	美濃紙業所カレンダー1959前半（6月/傘とカーネーション）	勝井三雄	1959	昭和34	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
116	美濃紙業所カレンダー1959後半（7月/水色に木と山脈）	IWA.（岩本平三郎）	1959	昭和34	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
117	美濃紙業所カレンダー1959後半（9月/月と鳥）	大智浩	1959	昭和34	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
118	美濃紙業所カレンダー1959後半（10月/蠍と男）	今竹七郎	1959	昭和34	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
119	美濃紙業所カレンダー1959後半（11月/楓と美女二人）	H. miya	1959	昭和34	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
120	美濃紙業所カレンダー1960前半（1月/鶴と凧）	西島伊三雄	1960	昭和35	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
121	美濃紙業所カレンダー1960前半（2月/梅）	石川夏男	1960	昭和35	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
122	美濃紙業所カレンダー1960前半（4月/花壇しましま）	大智浩	1960	昭和35	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ

番号	作品名・資料名	作者・発行	制作年（西暦・和暦）		材質・技法（色版※3章のみ）	サイズ（cm）	所蔵
123	美濃紙業所カレンダー1960後半（9月/線）	勝井三雄	1960	昭和35	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
124	美濃紙業所カレンダー1960後半（10月/黄）	広橋桂子	1960	昭和35	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
125	美濃紙業所カレンダー1960後半（11月/黒の立体）	神田昭夫	1960	昭和35	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
126	美濃紙業所カレンダー1960後半（12月/紫の構成）	加藤孝司	1960	昭和35	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
127	美濃紙業所カレンダー1961前半（表紙/黒と金の四角）	kataniwa（片庭瑞穂）/ アートディレクション：小池光三	1961	昭和36	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
128	美濃紙業所カレンダー1961前半（1月/色面構成）	石川三友	1961	昭和36	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
129	美濃紙業所カレンダー1961前半（2月/ピンクに白黒）	加藤孝司	1961	昭和36	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
130	美濃紙業所カレンダー1961前半（3月/つぶつぶの幾何）	草刈順	1961	昭和36	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
131	美濃紙業所カレンダー1961前半（4月/黒白の構成）	一万田幸司	1961	昭和36	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
132	美濃紙業所カレンダー1961前半（5月/赤と青の構成）	神田昭夫	1961	昭和36	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
133	美濃紙業所カレンダー1961前半（6月/金の三角）紙質違い	清原悦志	1961	昭和36	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
134	美濃紙業所カレンダー1961後半（8月/桜島）	前田藤四郎	1961	昭和36	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
135	美濃紙業所カレンダー1962（1-2月/三番叟）	前田藤四郎	1962	昭和37	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
136	美濃紙業所カレンダー1963（1-2月/ピンクのグラフィック）	大智浩	1963	昭和38	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
137	美濃紙業所カレンダー1964（表紙/モノクロ文字）	アートディレクション：小池光三	1964	昭和39	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
138	美濃紙業所カレンダー1964（1-2月/黒の立体）	神田昭夫	1964	昭和39	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
139	美濃紙業所カレンダー1964（3-4月/丸の重なり）	勝井三雄	1964	昭和39	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
140	美濃紙業所カレンダー1964（5-6月/半円の線の構成）	一万田幸司	1964	昭和39	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
141	美濃紙業所カレンダー1964（7-8月/赤と青の同化現象）	加藤孝司	1964	昭和39	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
142	美濃紙業所カレンダー1964（9-10月/黒の四角）	杉浦康平	1964	昭和39	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
143	美濃紙業所カレンダー1964 (11-12月/青系統の構成）	亀倉雄策	1964	昭和39	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
144	美濃紙業所カレンダー1965 (9-10月/秋色の錯視）	大智浩	1965	昭和40	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
145	美濃紙業所カレンダー1968（7-8月/青の渦）	大智浩	1968	昭和43	グランド印刷	53.3×38.8	株式会社ミノグループ
147	『アイデア』28号	誠文堂新光社	1958	昭和33		29.7×25.6	個人蔵
148	グランド印刷資材定価表	発行：美濃紙業所 デザイン：加藤孝司	1962	昭和37	シルクスクリーン	19.3×18.0	個人蔵
149	グランド印刷の解説	発行：グランド印刷研究所 デザイン：加藤孝司	1962	昭和37	シルクスクリーン（表紙）	21.0×15.0	個人蔵

番号	作品名・資料名	作者・発行	制作年（西暦・和暦）		材質・技法（色版※3章のみ）	サイズ（㎝）	所蔵
150	グランド印刷資材定価表	発行：美濃紙業所 デザイン：加藤孝司	1964	昭和39	シルクスクリーン	19.3×18.0	個人蔵
3章 デザインと印刷技術の競演							
151	観光ポスター	デザイン：河村運平 制作：永瀬史朗	制作年不詳		カッティングによるグランド印刷（4版／赤、緑、青、黒）	103.0×72.8	岐阜県美術館
152	JAPAN	デザイン：河村久子 制作：永瀬史朗	制作年不詳		カッティングによるグランド印刷（2版／赤、黒）	103.0×72.8	岐阜県美術館
153	書籍ポスター（大阪の宿）	デザイン：不詳 制作：永瀬史朗	制作年不詳		カッティングによるグランド印刷（4版／赤茶、焦茶、白、灰）	103.0×72.8	岐阜県美術館
154	祇園まつり（KYOTO）	デザイン：不詳 制作：永瀬史朗	制作年不詳		カッティングによるグランド印刷（12版／赤、ベージュ×4、青、紫、黒、灰×4）	103.0×72.8	岐阜県美術館
155	こどもの日	デザイン：不詳 制作：永瀬史朗	制作年不詳		カッティングによるグランド印刷（5版／赤、ベージュ、黒、濃灰、銀）	103.0×72.8	岐阜県美術館
156	銀行ポスター（佐賀銀行）	デザイン： 西島伊三雄 制作：永瀬史朗	制作年不詳		カッティングによるグランド印刷（10版／朱、ベージュ、緑、紫、黒×2、白、灰×2、金）	103.0×72.8	岐阜県美術館
157	観光ポスター（JAPAN）	デザイン：大智浩 制作：永瀬史朗	制作年不詳		カッティングによるグランド印刷（10版／赤、桃、黄、黄土色、茶、緑、深緑、グラデーションの緑、紫、黒）	103.0×72.8	岐阜県美術館
158	たばこポスター（FUJI）	デザイン：大智浩 制作：永瀬史朗	1952頃	昭和27頃	カッティングによるグランド印刷（5版／赤、茶、黒、金、パールグレー）	103.0×72.8	岐阜県美術館
159	MAMIYA	デザイン：大智浩 制作：永瀬史朗	制作年不詳		カッティングによるグランド印刷（5版／橙、黒、灰×3）	103.0×72.8	岐阜県美術館
160	INCABLOC	デザイン：大智浩 制作：永瀬史朗	制作年不詳		カッティングによるグランド印刷（5版／赤、黒×2、白、灰）	103.0×72.8	岐阜県美術館
161	女体（演奏会）	デザイン：加藤孝司 制作：永瀬史朗	1957	昭和32	カッティングによるグランド印刷（8版／赤、黄、青、紺、青み紫、紫、背景緑、黒）	103.0×72.8	岐阜県美術館
162	グランド印刷	デザイン：加藤孝司 制作：永瀬史朗	1958-66頃	昭和33-41頃	カッティングによるグランド印刷（3版／青、黒×2（マット、光沢））	103.0×72.8	岐阜県美術館
163	グランド印刷	デザイン：加藤孝司 制作：永瀬史朗	1960-64頃	昭和35-39頃	カッティングによるグランド印刷（4版／赤、緑、黒、白）	103.0×72.8	岐阜県美術館
164	写真の日	デザイン：斎藤八郎 制作：永瀬史朗	1957	昭和32	紙・カッティングによるグランド印刷（5版／赤、黄、青×2、紫）	103.0×72.8	岐阜県美術館

番号	作品名・資料名	作者・発行	制作年(西暦・和暦)		材質・技法 (色版※3章のみ)	サイズ (cm)	所蔵
165	母親大会(願いはただひとつ)	デザイン:斎藤八郎 制作:永瀬史朗	1958	昭和33	紙・カッティングによるグランド印刷(7版/赤紫、桃、黄、黄緑、青緑、グレー、黒)	103.0×72.8	岐阜県美術館
166	世界昆虫展	デザイン:斎藤八郎 制作:永瀬史朗	1958	昭和33	紙・カッティングによるグランド印刷(9版/赤×2、橙、黄、緑、青、灰×2、黒)	103.0×72.8	岐阜県美術館
167	死の灰はごめんだ	デザイン:斎藤八郎 制作:永瀬史朗	1959	昭和34	紙・カッティングによるグランド印刷(6版/赤、黄、紫、灰×2、黒)	103.0×72.8	岐阜県美術館
168	カラーフィルム(フジカラー)	デザイン:斎藤八郎 制作:永瀬史朗	1959	昭和34	紙・カッティングによるグランド印刷(5版/赤、黄、茶、青、黒)	103.0×72.8	岐阜県美術館
169	カメラ(Zunowレンズ)	デザイン:斎藤八郎 制作:永瀬史朗	1960	昭和35	紙・カッティングによるグランド印刷(7版/赤紫、黄×2、緑、水色、パールグレー、黒)	103.0×72.8	岐阜県美術館
170	カラーメーター(セコニックメーター)	デザイン:斎藤八郎 制作:永瀬史朗	1961	昭和36	紙・カッティングによるグランド印刷(7版/赤、橙、黄、黄緑、青、灰、黒)	103.0×72.8	岐阜県美術館
終章　探求とあそびごころと　幾何学構成に魅せられて							
171	作品集no.1	加藤孝司	1961	昭和36	シルクスクリーン、オフセット	33.2×33.2	個人蔵
172	作品集no.1より「ア」	加藤孝司	1961	昭和36	シルクスクリーン	33.2×33.2	個人蔵
173	作品集no.1より「イ」	加藤孝司	1961	昭和36	シルクスクリーン	33.2×33.2	個人蔵
174	作品集no.1より「ウ」	加藤孝司	1961	昭和36	シルクスクリーン	33.2×33.2	個人蔵
175	作品集NO.2	加藤孝司	1964	昭和39	シルクスクリーン、オフセット、活版	33.2×33.2	個人蔵
176	作品集NO.2より「1」	加藤孝司	1964	昭和39	シルクスクリーン	33.2×33.2	個人蔵
177	作品集NO.2より「2」	加藤孝司	1964	昭和39	シルクスクリーン	33.2×33.2	個人蔵
178	作品集NO.2より「3」	加藤孝司	1964	昭和39	シルクスクリーン	33.2×33.2	個人蔵
179	作品集NO.2より「4」	加藤孝司	1964	昭和39	シルクスクリーン	33.2×33.2	個人蔵
180	作品集NO.2より「5」	加藤孝司	1964	昭和39	シルクスクリーン	33.2×33.2	個人蔵
181	作品集NO.2より「6」	加藤孝司	1964	昭和39	シルクスクリーン	33.2×33.2	個人蔵
182	作品集アルバム「う」	加藤孝司	1958	昭和33		24.0×38.0	個人蔵
183	アイデアスケッチ	加藤孝司	制作年不詳		鉛筆、ポスターカラー		個人蔵
184	『ノイエ・グラフィーク』1-18号	J・ミューラー=ブロックマンら	1958-65	昭和33-40			個人蔵
185	『デザイニング・プログラム』	カール・ゲルストナー	英語版1964, 日本語版1966	英語版昭和39, 日本語版昭和41			個人蔵
186	『スピラーレ』5, 6-7, 8, 9号		1953-54	昭和28-29			個人蔵
187	KOHJI　KOHJI	加藤孝司	1969	昭和44	シルクスクリーン	103.0×72.8	個人蔵
188	構成試作1	加藤孝司	制作年不詳		ポスターカラー	25.0×25.0	個人蔵
189	構成試作2	加藤孝司	制作年不詳		ポスターカラー	33.5×33.5	個人蔵

番号	作品名・資料名	作者・発行	制作年（西暦・和暦）		材質・技法（色版※3章のみ）	サイズ（cm）	所蔵
190	年賀カード	加藤孝司	制作年不詳		シルクスクリーン	24.6×24.6	個人蔵
191	便箋	加藤孝司	制作年不詳		シルクスクリーン	25.7×17.6	個人蔵
192	アートワーク	加藤孝司	1995	平成7	スクリーンプリント	74.9×54.6	個人蔵
画に還る							
193	「こぐまちゃん」シリーズ絵本	わかやまけん こぐま社	（サイン 1980年）	昭和55			個人蔵
194	「じゅうろく定期積金」原画	加藤孝司	制作年不詳		ポスターカラー	21.4×44.2	個人蔵
195	「郷土の生んだ先覚者」原画	加藤孝司	1983	昭和58	ポスターカラー	27.5×44.0	個人蔵

ぎふの日本画　冬来たりなば 春遠からじ
ー岐阜県ゆかりの画家が描いた花鳥ー

2025年12月2日（火）から2026年3月29日（日）まで
＊は寄託作品 ○印は2月8日（日）まで、●印は2月10日（火）から展示

作家名		作品名	制作年	技法・素材
川合玉堂	●	春景山水図	1918	絹本着色
	○	紅梅鶴	昭和初期	紙本着色
徳田隣斎	○	松鶴小禽	不詳	紙本着色
	○	武陵桃源	不詳	絹本着色
玉舎春輝	○	武陵桃源図	1921頃	絹本金地着色
篠田柏邦	●	晩春小景	1933	紙本着色
前田青邨	○＊	水辺春暖	1973	紙本着色
川﨑小虎	○	焼野の春	1937	紙本着色
	○	冬日	1940	紙本着色
	●	沼三題 かいつむり	1940	紙本着色
		四季草花画巻「春」	1945-50	紙本着色
	●	たこ壺に猫柳	1956	紙本着色
	●	蕪に鶯	1965頃	紙本墨画
櫟文峰	○	写生帖より6点	1907-33頃	紙本着色
伊藤敏博	○	梅花咲く四万の里	1973	紙本墨画
加藤栄三	●	もくれん	1954	紙本着色
	●	春暁	1935-44頃	絹本着色
	○	ばら	1961	紙本着色
土屋輝雄	●	素描より3点	不詳	紙本着色
坪内節太郎	●	椿 萬葉集歌	1970年代	紙本着色
加藤東一	●	木魂―淡墨桜	1984	紙本金地着色
	○	臥龍梅	1996	紙本墨画淡彩
稗田一穂	○	春野	1976	紙本着色
土屋禮一	●＊	椿樹	2005	紙本着色
	●	桜樹	2008	紙本着色
特別展示				
日比野五鳳	●	山のは（月）	1971	墨、紙
	○	初日	1978	墨、紙

常設展示

作家名	作品名	制作年	技法、素材
美術館ホール、ロビー			
ジャコモ・マンズー	大きな枢機卿	1982	ブロンズ
ヴァレリアーノ・トルッビアーニ	錨を上げる	1975	ブロンズ、アルミニウム、鉄
庭園（正面）			
ピエール＝オーギュスト・ルノワール	勝利のヴィーナス	1914	ブロンズ
アリスティド・マイヨール	地中海	1902-05	ブロンズ
高橋清	第3の太陽	1982	白御影石
李禹煥	関係項 関係項	1986 1987	鉄、自然石 鉄、自然石
大成浩	風の影 No.1	1982	白御影石
榎倉康二	壁	1971 （再制作 1995）	コンクリート
小清水漸	アララトの舟	1992	銅、鉄、水、白大理石
杉浦康益	陶による石の群	1985	陶
天野裕夫	バオバブ・ライオン	2002	陶、ブロンズ
林武史	立つ人―月見台	2010	安山岩
ホール東側			
郭仁植	作品 86-ST	1986	米松、墨

1-2 企画展

培広庵コレクション
美人画の雪月花

2025/4/19 [土] - 6/15 [日]

美人画は、江戸時代に浮世絵で人気を博した「美人図」から発展し、その後日本画を代表する画題となった。金沢を拠点とするコレクターによって蒐集された「培広庵コレクション」は、約160点の美人画などから成る。上村松園、鏑木清方、伊東深水、山川秀峰などの主要な美人画家の他、金沢市出身である紺谷光俊、岐阜県ゆかりの川﨑小虎などの作品の中から、四季に合わせて全87点を厳選した。会期中に開催した培広庵氏によるギャラリートークは盛況を博すなど、美人画の魅力を最大限に提示する機会となった。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室3
・出品点数：87点
・観 覧 料：一般 1,000円(900円)、大学生800円(700円)、
　　高校生以下は無料
　　※(　) 内は20名以上の団体割引料金
・主　　催：岐阜県美術館、岐阜新聞社、岐阜放送
・協　　力：ヤマト運輸株式会社

作品リストは32ページ





アートまるケット
脳はダマせても⇄身体はダマされない＃05

2025/4/26 [土] - 7/13 [日]

アートまるケットは日比野克彦館長ディレクションによる、展示室を飛び出して館内外で美術を介して人々が出会い交流する場を創出するプロジェクト。第11回目となる今回は、当館が世界に誇るオディロン・ルドンコレクションの新たな発信及び利活用として、ルドン自身の制作体験にせまる試みを国内外で行った。
会期中にはルドンが晩年滞在していた南仏のフォンフロワド修道院を日比野館長が訪問し、フランスと当館、ルドン展の巡回先であるパナソニック汐留美術館(東京)に設けたサテライト会場を、仮想現実(VR)でつなげるアートイベントを開催した。美術館コレクションが紡ぐ交流の輪が世界へと広がっていくプロジェクトとなった。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室2
　サテライト会場：パナソニック汐留美術館ロビー
・出品点数：90点
・観 覧 料：無料
・主　　催：岐阜県美術館
・協　　力：フォンフロワド修道院

作品リストは35ページ





古墳時代から織部、そして現代へ
―土岐市美濃陶磁歴史館の名品と土岐市の寺社の文化財―

2025/8/23 [土] – 11/3 [月・祝]

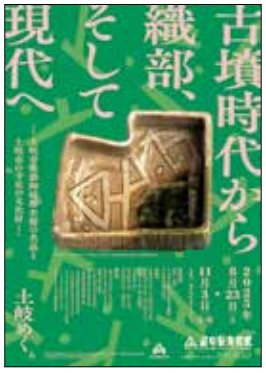
土岐市美濃陶磁歴史館は建て替えのために現在休館し、新博物館オープンを目指している。同館のコレクションの中から、古墳時代の須恵器や、元屋敷陶器窯跡出土品（重要文化財）を含む美濃桃山陶、江戸時代から昭和時代の陶磁器ならびに土岐市ゆかりの現代陶芸作家による作品などを厳選して展示した。あわせて、土岐市内の寺社に伝わる仏像や書画等も展示した。土岐市が誇る名品・文化財を総合的に鑑賞し、東濃地域の文化について理解を深める貴重な機会となった。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室1d,2
・出品点数：79件
・観 覧 料：一般800（700）円、大学生600（500）円
　　高校生以下は無料
　　※（　）内は20名以上の団体割引料金
・主　　催：岐阜県美術館、土岐市、（公財）土岐市文化振興事業団、中日新聞社
・後　　援：NHK岐阜放送局
・助　　成：（公財）田口福寿会、芸術文化振興基金助成事業

作品リストは37ページ





大正・昭和‘モード’の源泉
―国立美術館 コレクション・ダイアローグ

2025/11/15 [土] – 2026/2/15 [日]

国立アートリサーチセンターによる国立美術館の収蔵品活用事業「コレクション・ダイアローグ」の第一弾として、国立工芸館と協働し開催した。ジャポニスム、アール・ヌーヴォー、アール・デコ様式の影響を受けながらも、日本固有の美意識と結びつき、展開した大正・昭和の‘モード’に焦点をあて、当時の世相を反映したアクセサリーや家具、金属工芸やガラス工芸、雑誌、ポスターなど国立工芸館所蔵の工芸・デザイン作品を中心に、岐阜県美術館所蔵品から絵画・工芸作品をあわせて紹介した。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室3
・出品点数：167点
・観 覧 料：一般1,000（900）円、大学生800（700）円
　　高校生以下は無料
　　※（　）内は20名以上の団体割引料金
・主　　催：岐阜県美術館、国立工芸館、国立アートリサーチセンター、岐阜新聞社 岐阜放送
・後　　援：NHK岐阜放送局

作品リストは41ページ





―モンスーンに吹かれたように―
大移動と交流のアフリカ-アジアの現代美術
2026/3/13［金］- 6/14［日］

岐阜ゆかりの武将・織田信長にはアフリカ・モザンビーク出身とされる弥助という家臣がいたように、アジアとアフリカではモンスーンによる人やモノの行き交いがあった。本展では、両地域の人々の交流が孕む作家の作品を展示した。このようにアフリカのアートシーンの発展を示す作品群やそれに呼応し協働するアジアの作品群と併せて、堺市博物館の歴史資料や、国立民族学博物館のモザンビークの作品、岐阜県美術館のティンガティンガのコレクションも展示した。

出品作家：石川真生、エリアス・シメ、ワンゲシ・ムトゥ、ジョエル・アンドリアノメアリソア、チェ・ウォンジュン、長谷川愛、吉國元、マフディ・エシャーエイ、なみちえ（順不同）

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室3
・出品点数：49点
・観 覧 料：一般1,000(900) 円、大学生800(700) 円
　　高校生以下は無料
　　※(　) 内は20名以上の団体割引料金
・主　　催：岐阜県美術館
・共　　催：中日新聞社
・後　　援：NHK岐阜放送局
・協　　力：国立民族学博物館、特定非営利活動法人四国グローバルネットワーク、株式会社らくだスタジオ、AfroAsia Collective
・助　　成：ifa – Institut für Auslandsbeziehungen

作品リストは46ページ



培広庵コレクション　美人画の雪月花

№.	作家名	作品名	制作年（西暦）	制作年（和暦）	寸法（縦×横、単位cm）	素材・技法	形状
第1章　春							
1	小西長広	踊妓	1915	大正4	各170×172	絹本着色	屏風（二曲一双）
2	島成園	つれづれ	1930頃	昭和5頃	51×56	絹本着色	額装
3	伊藤小坡	宴の暇	1934	昭和9	125×42	絹本着色	軸装
4	伊東深水	垂枝梅	1935頃	昭和10頃	121×35	絹本着色	軸装
5	伊東深水	春雨		大正後期	131×42	絹本着色	額装
6	長野草風	春宵		大正中期	126×50	絹本着色	軸装
7	上村松園	桜可里能図	1935頃	昭和10頃	127×42	絹本着色	軸装
8	中村貞以	惜春		昭和20年代	131×42	絹本着色	軸装
9	谷角日沙春	送春図	1931頃	昭和6頃	119×28	絹本着色	軸装
10	梶原緋佐子	桜下美人	1921頃	大正10頃	144×40	絹本着色	軸装
11	池田輝方・池田蕉園	春秋図	1915頃	大正4頃	各127×42	絹本着色	軸装（双幅）
12	池田輝方・池田蕉園	お夏		明治末期	各108×27	絹本着色	軸装（双幅）
13	島成園	春宵		大正中期	27×35	絹本着色	軸装
14	島成園	微酔		大正中期	111×41	絹本着色	軸装
15	島成園	夕化粧	1923頃	大正12頃	45×51	絹本着色	軸装
16	島成園	惜春	1923頃	大正12頃	30×40	絹本着色	軸装
17	原田西湖	吉野の静御前	1911	明治44	158×360	絹本着色	屏風（六曲一隻）
18	島崎柳塢	三世代婦女	1907頃	明治40頃	129×73	絹本着色	軸装
19	紺谷光俊	知恵詣の図		大正初期	125×42	絹本着色	軸装
20	北野恒富	京舞妓	1931頃	昭和6頃	71×70	絹本着色	額装
21	池田輝方	御代参詣	1915頃	大正4頃	142×51	絹本着色	軸装
22	樋口富麻呂	粧ひ	1926頃	大正15頃	54×73	絹本着色	額装
23	木谷千種	春光		大正中期	32×41	絹本着色	軸装
24	太田聴雨	長夜		昭和初期	48×55	絹本着色	額装
25	山川秀峰	紅衣	1924頃	大正13頃	101×77	絹本着色	額装
26	岡本神草	舞妓	1928頃	昭和3頃	51×58	絹本着色	額装
27	村上華岳	屋形舩ノ図	1918	大正7	26×57	絹本着色	額装
28	鏑木清方	江の嶋		昭和初期	123×42	絹本着色	軸装
29	磯田又一郎	祇園白川巽橋		昭和40年代	41×55	紙本着色	額装
第2章　夏							
30	紺谷光俊	更衣		大正後期	146×149	絹本着色	屏風（二曲一隻）
31	板倉星光	蛍		昭和初期	128×41	絹本着色	軸装
32	山村耕花	町娘・遊女	1918頃	大正7頃	各160×42	絹本着色	軸装（双幅）
33	川崎小虎	髪すき	1922頃	大正11頃	129×161	絹本着色	額装
34	鏑木清方	翠影		大正後期	136×50	絹本着色	軸装
35	渡辺省亭	塩冶高貞妻浴後図	1892	明治25	123×55	絹本着色	軸装
36	甲斐荘楠音	うちは	1941頃	昭和16頃	54×36	絹本着色	軸装

No.	作家名	作品名	制作年（西暦）	制作年（和暦）	寸法（縦×横、単位cm）	素材・技法	形状
37	甲斐荘楠音	裸婦	1976頃	昭和51頃	43×41	絹本着色	額装
38	増原宗一	夏の宵	1926頃	大正15頃	146×47	絹本着色	軸装
39	寺島紫明	甲南夫人	1950頃	昭和25頃	63×60	紙本着色	額装
40	紺谷光俊	手鏡		大正中期	127×42	絹本着色	軸装
41	吉川観方	涼風	1946頃	昭和21頃	42×50	絹本着色	軸装
42	伊東深水	薄暮	1940頃	昭和15頃	137×36	絹本着色	軸装
43	北澤映月	夏美人		昭和前期	49×56	絹本着色	額装
44	宇田荻邨	祇園の雨	1953頃	昭和28頃	47×57	絹本着色	軸装
45	磯田又一郎	加茂川納涼		昭和中期	41×60	紙本着色	額装
46	門井掬水	七夕	1929	昭和4	185×199	絹本着色	屏風（二曲一隻）
47	伊藤小坡	虫賣り		昭和前期	46×51	絹本着色	軸装
第3章　秋							
48	山川秀峰	安倍野	1928	昭和3	234×222	絹本着色	屏風（二曲一隻）
49	北野恒富	願いの糸	1914頃	大正3頃	113×42	絹本着色	軸装
50	木谷千種	涼宵		昭和10年代	145×51	絹本着色	軸装
51	岡本大更	新涼	1932	昭和7	130×37	絹本着色	軸装
52	池田蕉園	秋思	1913頃	大正2頃	141×51	絹本着色	軸装
53	中村大三郎	静思	1920頃	大正9頃	151×51	絹本着色	軸装
54	島成園	つづみ	1914頃	大正3頃	126×41	絹本着色	軸装
55	島成園	化粧	1915頃	大正4頃	129×51	絹本着色	軸装
56	山村耕花	四季図（夏の虹・秋の月）	1918頃	大正7頃	220×212	絹本着色	屏風（二曲一隻）
57	幸野楳嶺	今様官女図		明治初期	113×34	絹本着色	軸装
58	廣田百豊	太夫	1935頃	昭和10頃	91×187	絹本着色	額装（四曲屏風一隻）
59	岡本神草	仮面	1927	昭和2	51×58	絹本着色	軸装
60	山川秀峰	鵲乃鏡	1920頃	大正9頃	169×69	絹本着色	軸装
61	紺谷光俊	採果図		昭和初期	200×116	絹本着色	額装
62	梶原緋佐子	秋の夜	1940頃	昭和15頃	87×72	絹本着色	額装
63	勝田哲	秋晴	1935頃	昭和10頃	126×42	絹本着色	軸装
64	伊藤小坡	秋の夜		大正前期	141×51	絹本着色	軸装
65	寺崎廣業	秋草美人	1897頃	明治30頃	44×26	絹本着色	軸装
66	鏑木清方	秋の錦	1947	昭和22	127×36	絹本着色	軸装
67	渡辺省亭	嵯峨野（仏御前の図）		明治後期	102×40	絹本着色	軸装
68	窠本一洋	長閑		昭和初期	122×37	絹本着色	軸装
第4章　冬							
69	竹久夢二	投扇興	1917頃	大正6頃	86×213	紙本着色	屏風（二曲一隻）
70	木谷千種	初音	1930頃	昭和5頃	44×51	絹本着色	軸装
71	菊池契月	羽子	1935	昭和10	131×42	絹本着色	軸装
72	勝田哲	黒髪	1939	昭和14	71×64	絹本着色	軸装

No.	作家名	作品名	制作年（西暦）	制作年（和暦）	寸法（縦×横、単位cm）	素材・技法	形状
73	小早川清	名妓市丸	1933	昭和8	211×113	絹本着色	軸装
74	横尾芳月	立茶手前	1935頃	昭和10頃	171×169	紙本着色	屏風（二曲一隻）
75	山川秀峰	素踊	1931	昭和6	167×122	紙本着色	額装
76	菊池契月	元禄美人		大正末期	140×51	絹本着色	軸装
77	土田麦僊	舞妓	1916頃	大正5頃	73×41	絹本着色	額装
78	谷角日沙春	伊勢詣		昭和初期	39×52	絹本着色	額装
79	木谷千種	傘の雪・吉野山		大正初期	各114×42	絹本着色	屏風（二曲一隻）
80	島成園	雪	1925頃	大正14頃	124×41	絹本着色	軸装
81	伊藤小坡	雪の朝	1930頃	昭和5頃	128×42	絹本着色	軸装
82	鏑木清方	初雪	1912頃	明治45頃	110×41	絹本着色	軸装
83	伊東深水	積雪	1940頃	昭和15頃	128×42	絹本着色	軸装
84	山川秀峰	雪	1943頃	昭和18頃	52×57	絹本着色	軸装
85	森川青坡	雪中二美人の図		昭和初期	190×110	絹本着色	軸装
86	千種掃雲	雪の日	1912頃	明治45頃	113×41	絹本着色	軸装
87	堂本印象	研遊帖		大正後期	各36×35	絹本着色	額装（十二面）



アートまるケット　脳はダマせても⇄身体はダマされない＃05

＊オディロン・ルドン作品は全て岐阜県美術館蔵

作者	（生年-没年）	作品名・資料名	制作年	素材技法
1．つなぐ人日比野克彦―ルドンゆかりの地を訪ねて				
		ルドンのアトリエ		写真(インクジェット出力パネル)
		ペイルルバード		写真(インクジェット出力パネル)
		フォンフロワド修道院		写真(インクジェット出力パネル)
		フォンフロワド修道院からパリに戻るTGVでのアイデア		写真(インクジェット出力パネル)
2．ルドンとわたし				
オディロン・ルドン	(1840-1916)	『エドガー・ポーに』表紙＝扉絵	1882	リトグラフ/紙
		『エドガー・ポーに』Ⅴ. 諸存在を導く息吹は球の中にもある	1882	リトグラフ/紙
		『ゴヤ頌』Ⅰ. 夢のなかで私は空に神秘の顔を見た	1885	リトグラフ/紙
		『夜』Ⅳ. キマイラはあらゆるものを恐ろしそうに見つめた	1886	リトグラフ/紙
		『陪審員』Ⅴ. 眼に見えぬ世界は存在しないのか……	1887	リトグラフ/紙
		『悪の華』表紙＝扉絵	1890	リトグラフ/紙
		『悪の華』Ⅷ. 章末の挿絵	1890	リトグラフ/紙
		『夢想(わが友アルマン・クラヴォーの思い出に)』Ⅰ.…それは一枚の帳、ひとつの刻印であった……	1891	リトグラフ/紙
		『幽霊屋敷』表紙＝扉絵	1896	リトグラフ/紙
		『幽霊屋敷』Ⅳ. 十中八九それは私のと同様に肉と血をもつ手であった	1896	リトグラフ/紙
		『聖アントワーヌの誘惑』第一集 表紙＝扉絵	1888	リトグラフ/紙
		『聖アントワーヌの誘惑』第一集 Ⅸ .いたるところで瞳が燃える	1888	リトグラフ/紙
		『ギュスターヴ・フロベールに』(「聖アントワーヌの誘惑」第二集) 表紙＝扉絵	1889	リトグラフ/紙
		『ギュスターヴ・フロベールに』(「聖アントワーヌの誘惑」第二集) Ⅳ.聖アントワーヌ：どこかに始原的な形象があるはずだ。その身体は映像にすぎないのだ	1889	リトグラフ/紙
		眼をとじて	1890	リトグラフ/紙
		パルジファル	1892	リトグラフ/紙
		スキヤポデス	1892	リトグラフ/紙
		『聖アントワーヌの誘惑』第三集ⅩⅢ.…頭を持たない眼が軟体動物のように漂っていた	1896	リトグラフ/紙
		『聖ヨハネ黙示録』表紙＝扉絵	1899	リトグラフ/紙
		『聖ヨハネ黙示録』Ⅹ. 彼らを惑わしたる悪魔は火と硫黄との池に投げ入れられたり。ここは獣も偽預言者もまたいる所にして	1899	リトグラフ/紙
日比野克彦	(1958-　)	ケイショウ→エイゾウ	2016	鉛筆、色鉛筆/紙
3．フォンフロワド・プロジェクト				
オディロン・ルドン	(1840-1916)	スケッチ	1880頃	エッチング/紙
		『聖アントワーヌの誘惑』第三集 XXII.…革袋のように丸い、海の獣たち 弓を持つケンタウロス	1896	リトグラフ/紙 油彩/画布
日比野克彦	(1958-　)	設計図	2024	ペン/発砲パネル
		フォンフロワド修道院活動写真・映像	2024	写真(インクジェット出力パネル)、映像
		彷徨う時間は再び巡り合うことはできない大切な時間。	2024	水彩、パステル/紙
		ここがあちら側への入り口になるので挨拶をしておこう。	2024	水彩/紙
		自意識が見えるので、自意識を消す練習をしましょう。	2024	水彩/紙
		ルドンさんの記憶が身体にある内に木の上から光の元に繋がる坑道の入口を探す。	2024	パステル/紙
		恐る恐る窓の外に出てみる。	2024	水彩、パステル/紙
		木は外に慣れているからなあ	2024	水彩/紙
		窓の外に出てから15分後の木を見ている私はこんな気持ち。	2024	パステル/紙
		外気との体温調整が出来ないから絵を描いて調整する。	2024	パステル、水彩/紙
		万有のエネルギーはいつもあり	2024	パステル、墨汁/紙
		木が支えている先の全てを	2024	パステル/紙
		手が心を案内をしてみる	2024	パステル、水彩/紙
		色が先にある。そるから境が形になる。	2024	パステル、水彩/紙
		光になりそこねると何になるのかを追求しているチームがいる。	2024	水彩/紙
		そのチームは互いのことを意識すると現れてくる。	2024	水彩/紙
		坑道の記憶があります。	2024	水彩/紙
		ふるわせるとつたわる。	2024	水彩/紙
		風と私でケモノ道を歩く先の行き先	2024	水彩/紙
		風が吹いて草木のように手が動く	2024	水彩/紙
		光の正体を突き止める	2024	水彩/紙

作者	（生年-没年）	作品名・資料名	制作年	素材技法
日比野克彦	(1958-　　)	湿度が手の甲に立ち寄ってきたので、しばらく観察をしてみる。	2024	パステル、水彩/紙
		ゆきすぎていく またゆきすぎていく。	2024	水彩/紙
		光が軟着陸したところには花がある。	2024	水彩/紙
		屋根より高い木が現れた時私はそこにいた。	2024	クレヨン、VRゴーグル/紙
		この先には行けない…この先はない。	2024	クレヨン、VRゴーグル/紙
		捻れる時空間は現実に私の中にあった。	2024	クレヨン、VRゴーグル/紙
		回廊は右回り回廊は左回り	2024	クレヨン、VRゴーグル/紙
		ルドンの時とあの山は変わらない	2024	クレヨン、VRゴーグル/紙
		外の中の内と内の中の外の境がある所から見た風景	2024	クレヨン、VRゴーグル/紙
		私の目前に突然巨大な壁画が宙に浮かびながら現れた。	2024	クレヨン、VRゴーグル/紙
		同じ館で7日間夜を過ごすと身体にはその館のアクが溜まる。	2024	墨、パステル/紙
		身体に溜まった館のアクは館から出ると消えていく。	2024	墨、パステル/紙
		身体には履歴が残っていた。	2024	墨、パステル/紙
		館には身体の履歴が残る。	2024	墨、パステル/紙
		読み取り不可という信号が記されていた。	2024	墨、パステル/紙
		宇宙は花瓶なのかもしれない。	2024	墨、パステル/紙
		今日まで寝させていただきました。	2024	水彩/紙
		今日まで覗かせていただきました。	2024	水彩/紙
		私の部屋の扉を開けるまでは、私の部屋の空気は昨日までの私の記憶が漂っている。	2024	水彩/紙
		私の部屋の扉を開けると100年前の館の記憶が忍びこんでくる。	2024	水彩/紙
		私の部屋の先の館の扉を開けると1000年前の園畑の記憶が滲んでくる。	2024	水彩/紙
		フォンフロワドの花		
		フォンフロワドに滞在していた時に使っていたスケッチブック		
4．脳はダマせても⇄身体はダマせない				
オディロン・ルドン	(1840-1916)	樹	1892	リトグラフ/紙
		天上の芸術	1894	リトグラフ/紙
		『聖アントワーヌの誘惑』第三集IX. …私は孤独のうちに沈んだ。私はうしろの木に住んでいたのだ	1896	リトグラフ/紙
		『聖ヨハネ黙示録』Ⅷ. われまた、ひとりの御使の底なきところの鍵と大いなる鎖とを手に持ちて天より降るを見たり	1899	リトグラフ/紙
		『聖アントワーヌの誘惑』第一集Ⅰ. …はじめに水溜り、つづいて娼婦、とある寺院の一隅、兵士の姿、たけり立つ二頭の白馬にひかれた車	1888	リトグラフ/紙
		翼ある馬	1894	リトグラフ/紙
		『聖アントワーヌの誘惑』第三集 XVII.彼はまっさかさまに深淵におちてゆく	1896	リトグラフ/紙
日比野克彦	(1958-　　)	脳はダマせても⇄身体はダマせない＃01	2024	アクリル絵具、顔彩、パステル、VRゴーグル/ボール紙
		「こんにちはルドンさん」私のふるさと岐阜でフォンフロワドに住むファイエさんに迎えられとるルドンさんの昼の夢を目をあけながら見ました。	2024	アクリル絵具、顔彩、パステル、木炭、VRゴーグル/紙
		「こんばんはルドンさん」私のふるさと岐阜でフォンフロワドに住むファイエさんに迎えられとるルドンさんの夜の夢を目をあけながら見ました。	2024	アクリル絵具、顔彩、パステル、木炭、VRゴーグル/紙
		「日比野克彦ライブペインティング avec VRルドン 脳はダマせても⇄身体はダマされない＃03」記録映像	2024	映像
5．絵が生まれる場所				
日比野克彦	(1958-　　)	ルドンが昼を描いた部屋で生まれた絵に118年後の8月31日になまえをつけよう。	2025	パステル、顔彩、VRゴーグル/紙
		ルドンが夜を描いた部屋で生まれた絵に118年後の4月20日になまえをつけよう。	2025	パステル、顔彩、墨汁、VRゴーグル/紙
		ひとつの夜からふたつの昼が育ちます。	2025	パステル/紙
		色がカーブを曲る時、擦れる適正速度が形になるという自然現象。	2025	パステル/紙
		光は色を産み出してくれる為にあることに右手が反応する。	2025	パステル/紙
		夜が明ける前に帰ります。	2025	パステル、墨汁/紙
		陽が暮れるまでは出かけています。	2025	パステル/紙

古墳時代から織部、そして現代へ―土岐市美濃陶磁歴史館の名品と土岐市の寺社の文化財―

前期：8月23日(土) －9月15日(月・祝)　中期：9月17日(水) －10月5日(日)　後期：10月7日(火) －11月3日(月・祝)
重要文化財＝国　岐阜県重要文化財＝県　土岐市指定有形文化財＝市

番号	指定	作品名	出土地、制作地、制作者	制作時期	材質技法・形状	法量(単位cm)	所蔵	展示期間
第1章　土岐市美濃陶磁歴史館のコレクション―古墳時代から江戸時代まで―								
1		須恵器 坏	出土地：熊野神社古墳(土岐市) 制作地：猿投窯(愛知県)	6世紀末～7世紀初頭／古墳時代	須恵器	口径9.8、高さ4.1、最大径12.1、底径5.0	土岐市美濃陶磁歴史館	
2		須恵器 高坏	出土地：熊野神社古墳(土岐市) 制作地：猿投窯(愛知県)	6世紀末～7世紀初頭／古墳時代	須恵器	口径11.3、高さ15.0、底径10.8	土岐市美濃陶磁歴史館	
3		須恵器 鳥鈕蓋	出土地：乙塚古墳(土岐市)	7世紀前半／飛鳥時代	須恵器	横6.8、奥行5.1、高さ8.3	土岐市美濃陶磁歴史館	
4		古瀬戸灰釉瓶子	出土地：伝土岐市土岐津町土岐口 制作地：瀬戸窯(愛知県)	14世紀／室町時代	陶器	口径5.0、高さ24.8、最大径17.4、底径10.8	土岐市美濃陶磁歴史館	
5		古瀬戸鉄釉瓶子	出土・制作地：穴弘法窯跡(土岐市)	15世紀／室町時代	陶器	口径3.8、高さ23.3、最大径16.1、底径11.0	土岐市美濃陶磁歴史館	
6		鉄釉四耳壺	制作地：瀬戸美濃窯(愛知県・岐阜県)	16世紀／室町～桃山時代	陶器	口径10.8、高さ42.0、最大径30.5、底径12.7	土岐市美濃陶磁歴史館	
7		天目茶碗	出土・制作地：柿野1号窯跡(土岐市)	16世紀／室町時代	陶器	口径11.1、高さ5.9、底径4.0	土岐市美濃陶磁歴史館	
8		瀬戸黒茶碗	出土・制作地：高根古窯跡(土岐市)	16世紀末／桃山時代	陶器	口径11.6、高さ8.4、最大径13.2、底径5.3	土岐市美濃陶磁歴史館	
9		志野茶碗 銘「都鳥」	制作地：美濃窯(岐阜県)	16世紀末～17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径13.5、高さ8.4、最大径14.4、底径6.6	土岐市美濃陶磁歴史館	
10		鼠志野額鉢	制作地：美濃窯(岐阜県)	16世紀末～17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径23.0、高さ4.7	土岐市美濃陶磁歴史館	
11		黒織部茶碗	出土・制作地：窯ヶ根4号窯跡(土岐市)	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径13.1、高さ7.1、底径4.6	土岐市美濃陶磁歴史館	
12		志野織部向付	制作地：美濃窯(岐阜県) (元屋敷窯〔土岐市〕か)	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径13.3、高さ4.3	土岐市美濃陶磁歴史館	
13		志野織部獅子文鉢	制作地：美濃窯(岐阜県)	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径37.4、高さ9.3、底径19.1	土岐市美濃陶磁歴史館	
14		赤織部鹿文茶碗	制作地：美濃窯(岐阜県)	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径12.2、高さ7.2、底径6.6	土岐市美濃陶磁歴史館	
15		青織部香炉	制作地：美濃窯(岐阜県)	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径7.7、高さ8.6、最大径11.8	土岐市美濃陶磁歴史館	
16		美濃伊賀花入	制作地：美濃窯(岐阜県)	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径7.5、高さ31.6、最大径13.3、底径11.9	土岐市美濃陶磁歴史館	
17		織部茶入 銘「八橋」	制作地：美濃窯(岐阜県)	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径2.8、高さ10.3、最大径5.7、底径5.0	土岐市美濃陶磁歴史館	
18		弥七田織部向付	制作地：弥七田窯(可児市)	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径19.0、高さ3.7	土岐市美濃陶磁歴史館	
19	国	黄瀬戸鉢	出土地：元屋敷陶器窯跡(土岐市) 焼成窯：東2号窯か	16世紀後半～末／桃山時代	陶器	長さ(11.0)、高さ(1.7)、底径8.4 ※( )内は復元値	土岐市美濃陶磁歴史館	
20	国	黄瀬戸鉢	出土地：元屋敷陶器窯跡(土岐市) 焼成窯：東2号窯か	16世紀後半～末／桃山時代	陶器	長さ(13.7)、高さ(2.0)、底径9.9 ※( )内は復元値	土岐市美濃陶磁歴史館	
21	国	黄瀬戸鉢蓋	出土地：元屋敷陶器窯跡(土岐市) 焼成窯：東2号窯か	16世紀後半～末／桃山時代	陶器	長さ(8.9)、高さ(8.8) ※( )内は復元値	土岐市美濃陶磁歴史館	
22	国	黄瀬戸花入	出土地：元屋敷陶器窯跡(土岐市) 焼成窯：東2号窯か	16世紀後半～末／桃山時代	陶器	口径(11.8)、高さ20.7、底径7.7 ※( )内は復元値	土岐市美濃陶磁歴史館	

番号	指定	作品名	出土地、制作地、制作者	制作時期	材質技法・形状	法量(単位cm)	所蔵	展示期間
23	国	瀬戸黒茶碗	出土地：元屋敷陶器窯跡(土岐市) 焼成窯：東2号窯か	16世紀後半～末 ／桃山時代	陶器	口径9.8、高さ8.4、 底径5.4	土岐市美濃 陶磁歴史館	
24	国	志野茶碗	出土地：元屋敷陶器窯跡(土岐市) 焼成窯：東3号窯か	16世紀末～17世紀初頭 ／桃山時代	陶器	口径12.9、高さ8.4、 底径5.0	土岐市美濃 陶磁歴史館	
25	国	志野大鉢	出土地：元屋敷陶器窯跡(土岐市) 焼成窯：東1号窯か	16世紀末～17世紀初頭 ／桃山時代	陶器	口径24.5、高さ4.5	土岐市美濃 陶磁歴史館	
26	国	鳴海織部向付	出土地：元屋敷陶器窯跡(土岐市) 焼成窯：元屋敷窯	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径12.1、高さ4.9	土岐市美濃 陶磁歴史館	
27	国	志野織部大鉢	出土地：元屋敷陶器窯跡(土岐市) 焼成窯：元屋敷窯	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径(27.7)、高さ6.5 ※( )内は復元値	土岐市美濃 陶磁歴史館	
28	国	志野織部向付	出土地：元屋敷陶器窯跡(土岐市) 焼成窯：元屋敷窯	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径7.2、高さ10.3、 底径4.9	土岐市美濃 陶磁歴史館	
29	国	青織部向付	出土地：元屋敷陶器窯跡(土岐市) 焼成窯：元屋敷窯	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径8.5、高さ9.8、 底径5.8	土岐市美濃 陶磁歴史館	
30	国	黒織部茶碗	出土地：元屋敷陶器窯跡(土岐市) 焼成窯：元屋敷窯	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径12.7、器高7.2、 底径6.1	土岐市美濃 陶磁歴史館	
31	国	織部黒茶碗	出土地：元屋敷陶器窯跡(土岐市) 焼成窯：元屋敷窯	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径10.7、高さ10.9、 底径5.2	土岐市美濃 陶磁歴史館	
32	国	美濃伊賀水指	出土地：元屋敷陶器窯跡(土岐市) 焼成窯：元屋敷窯	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径15.5、高さ20.3	土岐市美濃 陶磁歴史館	
33	国	美濃唐津花入	出土地：元屋敷陶器窯跡(土岐市) 焼成窯：元屋敷窯	17世紀初頭／桃山時代	陶器	口径10.7、高さ29.9、 底径11.6	土岐市美濃 陶磁歴史館	
34		華南三彩鉢	制作地：中国	16～17世紀／明時代	磁器	口径29.3、高さ6.0、 底径18.0	土岐市美濃 陶磁歴史館	
35		色絵向付	制作地：中国	17世紀／明時代	磁器	口径12.6、高さ3.7、 底径12.0	土岐市美濃 陶磁歴史館	
36		青花花鳥文皿	制作地：漳州窯(中国福建省)	17世紀／明時代	磁器	口径16.6、高さ3.1、 底径8.6	土岐市美濃 陶磁歴史館	
37		古染付蝶形向付	制作地：中国	天啓年間(1621～27) ／明時代	磁器	口径17.2、高さ3.9	土岐市美濃 陶磁歴史館	
38		鉄釉足付陶硯	制作地：美濃窯(岐阜県)	17世紀／江戸時代	陶器	横20.5、奥行23.0、 高さ10.6	土岐市美濃 陶磁歴史館	
39		笠原鉢	制作地：瀬戸美濃窯 (愛知県・岐阜県)	17～18世紀／江戸時代	陶器	口径30.0、高さ10.8、 底径14.5	土岐市美濃 陶磁歴史館	
40		御深井釉鉢	制作地：美濃窯(岐阜県)	17世紀前半／江戸時代	陶器	口径30.4、高さ8.8	土岐市美濃 陶磁歴史館	
41		御深井釉水滴	出土・制作地：乙塚東窯跡(土岐市)	17世紀後半～18世紀初頭 ／江戸時代	陶器	横4.7、奥行14.2、 高さ5.9	土岐市美濃 陶磁歴史館	
42		御深井釉水滴	出土・制作地：乙塚東窯跡(土岐市)	17世紀後半～18世紀初頭 ／江戸時代	陶器	横3.5、奥行6.9、 高さ4.1	土岐市美濃 陶磁歴史館	
43		御深井釉水滴	出土・制作地：乙塚東窯跡(土岐市)	17世紀後半～18世紀初頭 ／江戸時代	陶器	横5.2、奥行5.5、 高さ5.3	土岐市美濃 陶磁歴史館	
44		鉄釉拳骨茶碗	制作地：瀬戸美濃窯 (愛知県・岐阜県)	18世紀／江戸時代	陶器	口径11.0、高さ7.7、 最大径11.6、底径4.4	土岐市美濃 陶磁歴史館	
45		錆釉徳利	制作地：瀬戸美濃窯 (愛知県・岐阜県)	18～19世紀／江戸時代	陶器	口径1.8、高さ16.9、 最大径11.9、底径7.5	土岐市美濃 陶磁歴史館	
46		鎧徳利	制作地：瀬戸美濃窯 (愛知県・岐阜県)	18世紀／江戸時代	陶器	口径2.6、高さ24.0、 最大径15.9、 底径11.9	土岐市美濃 陶磁歴史館	
47		荻之島焼染付花蝶文 蓋付茶碗	荻之島焼(瑞浪市)・足立岩次 作か	19世紀／江戸時代	磁器	碗：口径10.5、 高さ6.0、底径4.0 蓋：口径9.2、 高さ2.9、底径3.8	土岐市美濃 陶磁歴史館	

番号	指定	作品名	出土地、制作地、制作者	制作時期	材質技法・形状	法量(単位cm)	所蔵	展示期間
48		鉄釉蘭引	制作地：美濃窯・駄知(土岐市)	慶応3年(1867)／江戸時代	陶器	口径10.8、高さ29.3、底径9.0	土岐市美濃陶磁歴史館	
第2章　土岐市の寺社の文化財								
49	県	夢窓疎石墨蹟「果山」	夢窓疎石 筆	14世紀／南北朝時代	紙本墨書	縦33.8、横95.0	崇禅寺	前期
50	県	此山妙在墨跡	此山妙在 筆	康安2年(1362)／南北朝時代	紙本墨書	縦32.5、横57.2	崇禅寺	前期
51	市	妻木家頼像		元和9年(1623)／江戸時代	紙本著色	縦99.0、横51.5	崇禅寺	中期
52	市	妻木伝入像		寛永3年(1626)／江戸時代	紙本著色	縦109.0、横54.0	崇禅寺	中期
53	県	繋馬図絵馬		慶長14年(1609)／桃山時代	板地著色	右：縦59.0、横86.5 左：縦59.6、横87.1	妻木八幡神社	後期
54	市	突帯文壺	出土地：大性院経塚(土岐市) 制作地：猿投窯(愛知県)	12世紀／平安時代	陶器	口径18.5、高さ41.5、最大径35.6、底径13.5	大性院	
55	市	香炉	加藤景重 作	正保2年(1645)／江戸時代	陶器	横18.5、奥行15.6、高さ13.0	妻木陶磁器工業組合	
56-1	市	十王像群　秦広王		延宝元年(1673)／江戸時代	木造　彩色	像高46.0	御幸町十王堂保存会	
56-2	市	十王像群　初江王		延宝元年(1673)／江戸時代	木造　彩色	像高48.0	御幸町十王堂保存会	
56-3	市	十王像群　宋帝王		延宝元年(1673)／江戸時代	木造　彩色	像高46.5	御幸町十王堂保存会	
56-4	市	十王像群　五官王		延宝元年(1673)／江戸時代	木造　彩色	像高45.0	御幸町十王堂保存会	
56-5	市	十王像群　閻魔王		延宝元年(1673)／江戸時代	木造　彩色　玉眼	像高51.0	御幸町十王堂保存会	
56-6	市	十王像群　変成王		延宝元年(1673)／江戸時代	木造　彩色	像高45.5	御幸町十王堂保存会	
56-7	市	十王像群　太山王		延宝元年(1673)／江戸時代	木造　彩色	像高46.0	御幸町十王堂保存会	
56-8	市	十王像群　平等王		延宝元年(1673)／江戸時代	木造　彩色	像高37.0	御幸町十王堂保存会	
56-9	市	十王像群　都市王		延宝元年(1673)／江戸時代	木造　彩色	像高46.5	御幸町十王堂保存会	
56-10	市	十王像群　五道転輪王		延宝元年(1673)／江戸時代	木造　彩色	像高45.5	御幸町十王堂保存会	
56-11	市	十王像群　司命		延宝元年(1673)／江戸時代	木造　彩色	像高49.5	御幸町十王堂保存会	
56-12	市	十王像群　司録		延宝元年(1673)／江戸時代	木造　彩色	像高50.5	御幸町十王堂保存会	
56-13	市	十王像群　奪衣婆		延宝元年(1673)／江戸時代	木造　彩色	像高43.0	御幸町十王堂保存会	
56-14	市	十王像群 檀拏幢・業秤		延宝元年(1673)／江戸時代	木造　彩色	総高53.5	御幸町十王堂保存会	
56-15	市	十王像群　浄玻璃鏡	鏡：松村因幡守重義 作	延宝元年(1673)／江戸時代	銅製　鋳造	径24.1	御幸町十王堂保存会	
57-1		果山正位坐像		至徳3年(1386)／南北朝時代	木造　彩色　玉眼	像高61.3	崇禅寺	前期・中期
57-2		金剛般若経	雲宗 筆	応安3年(1370)／南北朝時代	紙本墨書	縦15.6、長490.3	崇禅寺	前期

番号	指定	作品名	出土地、制作地、制作者	制作時期	材質技法・形状	法量(単位cm)	所蔵	展示期間
57-3		法華経巻第八残巻	雲宗 筆	応安4年(1371) ／南北朝時代	紙本墨書	縦14.8、横26.9	崇禅寺	中期
58	県	釈迦如来立像		13世紀／鎌倉時代	木造　素地 玉眼	像高99.5	崇禅寺	後期
59	市	狛犬	小木曽庄九郎 作 制作地：美濃・水上(瑞浪市)	宝暦9年(1759) ／江戸時代	陶製	阿形：高さ50.1 吽形：高さ52.7	下石八劍神社	
60		神猿	市左衛門 作 制作地：美濃・高田(多治見市)	万延元年(1860) ／江戸時代	陶製	阿形：高さ40.0 吽形：高さ37.5	久尻神社	
61		神狐		明和3年(1766) ／江戸時代	陶製	阿形：高さ20.0 吽形：高さ21.0	須後神明神社	
第3章　土岐市美濃陶磁歴史館のコレクション―近現代―								
62		染付獅子文鉢(亀吉井)	制作地：瀬戸美濃窯 (愛知県・岐阜県)	19世紀／明治時代初頭	磁器	口径15.0、高さ6.2、 最大径17.0、底径9.3	土岐市美濃 陶磁歴史館	
63		染付湯呑	加藤五輔 作 制作地：美濃・市之倉(多治見市)	19～20世紀／明治時代	磁器	口径6.2、高さ7.9、 底径4.0	土岐市美濃 陶磁歴史館	
64		クロム銅版宝珠ねずみ文煎茶碗	制作地：美濃・定林寺(土岐市)	19～20世紀／明治時代	磁器	口径5.5、高さ3.5、 底径2.7	土岐市美濃 陶磁歴史館	
65		青磁富士山図皿	熊谷鉄蔵 作 制作地：美濃・妻木(土岐市)	19～20世紀／明治時代	磁器	口径18.4、高さ2.8、 底径10.5	土岐市美濃 陶磁歴史館	
66		上絵美人図ソーサー／カップ	中島玉吉 作 制作地：美濃・妻木(土岐市)	19～20世紀／明治時代	磁器	ソーサー：口径14.0、 高さ2.3、底径8.6 カップ：口径9.8、高さ5.2、最大径11.8、 底径4.5	土岐市美濃 陶磁歴史館	
67		西浦焼釉下彩獅子文花瓶	制作地：美濃(岐阜県)	20世紀初頭／明治時代	磁器	口径15.3、高さ35.9、 胴径25.5、底径13.3	土岐市美濃 陶磁歴史館	
68		蛙付染付鵜飼図鳴き徳利	制作地：美濃窯(岐阜県)	20世紀／大正～昭和時代	磁器	口径2.3、高さ14.3、 最大径6.2、底径4.9	土岐市美濃 陶磁歴史館	
69		タタキ土瓶	知山陶苑 作 制作地：土岐市下石町	1950年代／昭和時代	陶器	口径6.8、高さ13.2、 最大径18.9、底径7.8	土岐市美濃 陶磁歴史館	
70		少女図鉢	小谷陶磁器研究所 作 制作地：土岐市下石町	昭和26～33年(1951～58) ／昭和時代	陶器	口径19.6、高さ8.3、 底径5.6	土岐市美濃 陶磁歴史館	
71		青白磁水鳥文壺	塚本快示 作 制作地：土岐市駄知町	20世紀／昭和～平成時代	磁器	口径14.2、高さ42.0、 最大径25.3、 底径14.1	土岐市美濃 陶磁歴史館	
72		種子島茶碗	小山冨士夫 作 制作地：土岐市泉町久尻・花の木窯	昭和48～50年(1973～75) ／昭和時代	陶器	口径14.6、高さ8.1、 底径6.1	土岐市美濃 陶磁歴史館	
73		黄瀬戸胴紐茶碗	林景正 作 制作地：土岐市泉町久尻 ・乙塚窯	20世紀／昭和時代	陶器	口径11.1、高さ7.6、 最大径11.8、底径6.4	土岐市美濃 陶磁歴史館	
74		志野茶碗「なみの花」	加藤景秋 作 制作地：土岐市泉町久尻・菖蒲ノ窯	昭和39年(1964) ／昭和時代	陶器	口径12.5、高さ9.6、 最大径13.5、底径6.2	土岐市美濃 陶磁歴史館	
75		赤志野茶碗	林正太郎 作 制作地：土岐市下石町	平成14年(2002) ／平成時代	陶器	口径12.3、高さ9.4、 最大径14.4、底径5.2	土岐市美濃 陶磁歴史館	
76		鳴海織部田楽手付鉢	永江港史 作 制作地：土岐市久尻・市の沢窯	平成14年(2002) ／平成時代	陶器	横24.2、奥行21.4、 高さ17.8	土岐市美濃 陶磁歴史館	
77		彩磁菖蒲文茶碗	塚本司郎 作 制作地：土岐市駄知町	平成10年(1998) ／平成時代	磁器	口径10.5、高さ8.4、 底径3.9	土岐市美濃 陶磁歴史館	
78		銀彩点紋鉢	伊藤慶二 作 制作地：土岐市	昭和43年(1968) ／昭和時代	陶器	口径37.5、高さ9.0	土岐市美濃 陶磁歴史館	
79		神代杉木画箱	長谷川英二 作 制作地：土岐市妻木町	平成10年(1998) ／平成時代	木製	横29.0、奥行17.0、 高さ13.7	土岐市美濃 陶磁歴史館	

大正・昭和‘モード’の源泉
―国立美術館 コレクション・ダイアローグ

○印は2025年12月25日(木)まで、●印は2026年1月6日(火)から展示

番号		作家名	生没年	作品名	制作年	技法、素材	所蔵
1章‘モード’以前							
1		エミール・ガレ	1846-1904	草花文月光色ガラスデカンタ	1867-76頃	多色レリーフ、エナメル彩、金彩、宙吹き、ガラス	国立工芸館
2		クリストファー・ドレッサー	1834-1904	小花模様のティーカップ・セット	1875	色絵、ボーンチャイナ	国立工芸館
3		エミール・ガレ	1846-1904	獅子頭「日本の怪獣の頭」	1876-84頃	エナメル彩、金彩、エングレーヴィング、型吹き、ガラス	国立工芸館
4		エミール・ガレ	1846-1904	イチジク文聖杯	1898	エングレーヴィング、マルケトリ、被せガラス、金箔挟込、宙吹き	国立工芸館
5	○	アルフォンス・ミュシャ	1860-1939	サラ・ベルナール	1896	リトグラフ、紙	国立工芸館
6	●	アルフォンス・ミュシャ	1860-1939	サラ・ベルナール アメリカン・ツアー	1895	リトグラフ、紙	国立工芸館
7		ルネ・ラリック	1860-1945	ブローチ 桑の木と甲虫	1900頃	真珠、オパルセント・ガラス、七宝、金	国立工芸館
8		ルネ・ラリック	1860-1945	ブローチ 翼のある風の精	1898頃	ダイヤモンド、七宝、金	国立工芸館
9		ルネ・ラリック	1860-1945	ブローチ	1900頃	七宝、金	国立工芸館
10	○	クリストファー・ドレッサー	1834-1904	草花模様染カーテン布	1890代	プリント	国立工芸館
11	●	クリストファー・ドレッサー	1834-1904	唐草模様織カーテン布	1890代	織	国立工芸館
12		クリストファー・ドレッサー	1834-1904	帽子掛け	1875頃	エナメル塗装、鋳鉄	国立工芸館
13		クリストファー・ドレッサー	1834-1904	センター・ピース	1890代	銀メッキ、金属	国立工芸館
14		アーチボルド・ノックス	1864-1933	バックル	1901頃	銀	国立工芸館
15		クリストファー・ドレッサー	1834-1904	ポット(竜の注口と把手付)	1875-76頃	陶器	国立工芸館
16		クリストファー・ドレッサー	1834-1904	ポット(角型)	1875-76頃	陶器	国立工芸館
17		クリストファー・ドレッサー	1834-1904	植物・虫模様線刻ティーセット	1879	錫メッキ、真鍮	国立工芸館
18		クリストファー・ドレッサー	1834-1904	把手付き燭台	1876	エナメル塗装、金属、木	国立工芸館
19	○	オーブリー・ビアズリー	1872-1898	サヴォイ(雑誌合本の刊行)	1896	リトグラフ、紙	国立工芸館
20	●	オーブリー・ビアズリー	1872-1898	キーノーツ・シリーズ(小説叢書)	1896	リトグラフ、紙	国立工芸館
21	○	アンリ・ヴァン・ド・ヴェルド	1863-1957	トロポン	1898頃	リトグラフ、紙	国立工芸館
22	○	ジュール・シェレ	1836-1932	フィガロ紙	1896	リトグラフ、紙	国立工芸館
23	●	ジュール・シェレ	1836-1932	ジェローデル下剤	1904	リトグラフ、紙	国立工芸館
2章‘モード’の始まり							
24		初代宮川香山	1842-1916	色入菖蒲図花瓶	1897-1912頃	釉下彩、磁器	国立工芸館
25		板谷波山	1872-1963	葆光彩磁牡丹文様花瓶	1922	葆光彩、磁器	国立工芸館
26		藤井達吉	1881-1964	電気スタンド	1916-23頃	切透、打出、銅	国立工芸館
27		川崎小虎	1886-1977	うどんげの花を植える女	1912	紙本着色	岐阜県美術館
28		藤井達吉	1881-1964	草花図屏風	1916-20頃	螺鈿、七宝、鉛象嵌、着彩、木	国立工芸館
29	○	杉浦非水	1876-1965	三越呉服店 春の新柄陳列会	1914	オフセット・リトグラフ、紙	国立工芸館
30	●	杉浦非水	1876-1965	『三越』第1巻第6号(1911年8月)	1911	印刷、紙	国立工芸館
31	●	杉浦非水	1876-1965	『三越』第4巻第11号(1914年11月)	1914	印刷、紙	国立工芸館
32	●	杉浦非水	1876-1965	『たかね』第26号	1910-20代	印刷、紙	国立工芸館

番号		作家名	生没年	作品名	制作年	技法、素材	所蔵
33	○	杉浦非水	1876-1965	『美容』第3号	1910-20代	印刷、紙	国立工芸館
34	●	杉浦非水	1876-1965	『三越』第3巻第6号（1913年6月）	1913	印刷、紙	国立工芸館
35	○	杉浦非水	1876-1965	『三越』第1巻第10号（1911年11月）	1911	印刷、紙	国立工芸館
36	●	杉浦非水	1876-1965	『三越』第3巻第8号（1913年8月）	1913	印刷、紙	国立工芸館
37	○	杉浦非水	1876-1965	『三越』第3巻第3号（1913年3月）	1913	印刷、紙	国立工芸館
38	●	杉浦非水	1876-1965	三越呉服店 新館落成	1914	リトグラフ、紙	国立工芸館
39	○	杉浦非水	1876-1965	三越呉服店	1915	リトグラフ、紙	国立工芸館
40	○	杉浦非水	1876-1965	『三越』11月号 表紙原画	1920-30代	水彩、紙	国立工芸館
41	●	杉浦非水	1876-1965	三越広告図案 （『帝劇』掲載）(7/12)「女着物」原画	1920代	グアッシュ、紙	国立工芸館
42	●	杉浦非水	1876-1965	星製薬	1914	リトグラフ、紙	国立工芸館
43	○	杉浦非水	1876-1965	『科學』第2巻第5号（1925年5月）	1925	印刷、紙	国立工芸館
44	○	杉浦非水	1876-1965	南満洲鉄道株式会社	1917頃	オフセット・リトグラフ、紙	国立工芸館
45	○	杉浦非水	1876-1965	『日本』	1910-20代	印刷、紙	国立工芸館
46	●	杉浦非水	1876-1965	『TOURIST MAP OF TOKYO』	1910-20代	印刷、紙	国立工芸館
47	●	杉浦非水	1876-1965	絵はがき「芙蓉」	1915-16頃	リトグラフ、紙	国立工芸館
48	○	杉浦非水	1876-1965	絵はがき「ころもがへ」	1915-16頃	木版、紙	国立工芸館
49	○	杉浦非水	1876-1965	絵はがき「孔雀」	1915-16頃	木版、紙	国立工芸館
50	●	杉浦非水	1876-1965	絵はがき「チウリツプ」	1915-16頃	リトグラフ、紙	国立工芸館
51	○	杉浦非水	1876-1965	絵はがき「サンタクロース」	1915-16頃	リトグラフ、紙	国立工芸館
52	●	杉浦非水	1876-1965	絵はがき「極光」	1915-16頃	リトグラフ、紙	国立工芸館
53	○	杉浦非水	1876-1965	東京三越呉服店 本店西館修築落成・ 新宿分店新築落成	1925	オフセット・リトグラフ、紙	国立工芸館
54	●	杉浦非水	1876-1965	東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通	1927	オフセット・リトグラフ、紙	国立工芸館
55	●	杉浦非水	1876-1965	原画「横顔」	1914-39頃	着色、紙	国立工芸館
56	○	杉浦非水	1876-1965	原画「ゴルフ」	1914-39頃	着色、紙	国立工芸館
57	●	杉浦非水	1876-1965	原画「人魚」	1914-39頃	着色、鉛筆、紙	国立工芸館
58	○	杉浦非水	1876-1965	原画「植物」	1914-39頃	インク、鉛筆、紙	国立工芸館
59	●	杉浦非水	1876-1965	『大正十三年新聞総覧』 （日本電報通信社）	1924	印刷、紙	国立工芸館
60	●	杉浦非水	1876-1965	カルピス	1926	リトグラフ、紙	国立工芸館
61	○	杉浦非水	1876-1965	トモエ石鹸	1926	リトグラフ、紙	国立工芸館
62		土屋輝雄	1909-1962	資料 図案	1930-40代	着色、紙	岐阜県美術館
63		土屋輝雄	1909-1962	資料 図案	1930-40代	着色、紙	岐阜県美術館
64		土屋輝雄	1909-1962	資料 図案	1930-40代	着色、紙	岐阜県美術館
65		土屋輝雄	1909-1962	資料 図案	1930-40代	着色、紙	岐阜県美術館
3章 'モード'の揺籃期 I							
66		ジャン・デュナン	1877-1942	栗の木	1922	色漆、パネル	国立工芸館
67		ルネ・ビュトー	1886-1986	花模様大皿	1920-25頃	陶器	国立工芸館

番号		作家名	生没年	作品名	制作年	技法、素材	所蔵
68		ルネ・ビュトー	1886-1986	裸婦図壺	1920-25頃	陶器	国立工芸館
69		ルネ・ビュトー	1886-1986	幾何学文花瓶	1935-40頃	陶器	国立工芸館
70		セルゲイ・ワシリエヴィチ・チェホーニン	1878-1936	槌に鎌文皿	1919	磁器	国立工芸館
71		イリヤ・グリゴリエヴィチ・チャーシニク	1902-1929	皿	1924	磁器	国立工芸館
72		クローディウ・リノシェ	1893-1953	飾り皿	1920	金属象嵌、鍛造、銅合金	国立工芸館
73		クローディウ・リノシェ	1893-1953	渦巻文飾皿	1925頃	金属象嵌、鍛造、銅合金	国立工芸館
74		ジャン・デュナン	1877-1942	球形花瓶(緑、黒)	1925	色漆、鍛造、銅合金	国立工芸館
75		ジャン・デュナン	1877-1942	球形花瓶(金、赤)	1925頃	色漆、鍛造、銅合金	国立工芸館
76	○	シャルル・ルポー	1892-1962	現代装飾美術・工業美術国際博覧会	1925	リトグラフ、紙	国立工芸館
77	●	ロベール・ボンフィス	1886-1971	現代装飾美術・工業美術国際博覧会	1925	リトグラフ、紙	国立工芸館
78		ジャン・ピュイフォルカ	1897-1945	ティー・セット	1925	銀、紫檀	国立工芸館
79		フランソワ・デコルシュモン	1880-1971	花文飾鉢	1926頃	パート・ド・ヴェール	国立工芸館
80		ルネ・ラリック	1860-1945	雄鶏と羽根文花瓶	1928	プレスガラス	国立工芸館
81		ドームクリスタル	1878-	剣先文トパーズ壺	1935	エッチング、トパーズ淡彩ガラス	国立工芸館
82		ハーゲンアウアー	1898-	装飾額付鏡	1925頃	真鍮、鏡	国立工芸館
83		ピエール・シャロー	1887-1950	書架机	1930頃	木、鉄	国立工芸館
84		マルセル・ブロイヤー	1902-1981	肘掛け椅子	1922-24頃	木(オーク)、革	国立工芸館
85		アルヴァ・アアルト	1898-1976	トロリー	1930-39頃	合板、籐	国立工芸館
86	●	A. M. カッサンドル	1901-1968	ノール・エクスプレス(観光)	1927	リトグラフ、紙	国立工芸館
87	○	A. M. カッサンドル	1901-1968	北極星号	1927	リトグラフ、紙	国立工芸館
88	●	A. M. カッサンドル	1901-1968	ワゴン・リ・クック(旅行サービス社)	1933	リトグラフ、紙	国立工芸館
89	○	A. M. カッサンドル	1901-1968	ノルマンディー号	1935	リトグラフ、紙	国立工芸館
90	○	ロジェ・デ・ヴァレリオ	1886-1951	シトロエン	1930-39頃	リトグラフ、紙	国立工芸館
91	●	ドロシー・ヴォー	1896-1996	国立公園II	1935頃	リトグラフ、紙	国立工芸館
3章 'モード'の揺籃期II							
92		佐々木象堂	1882-1961	鋳銅草葉文花瓶	1926	蠟型鋳造、青銅	国立工芸館
93		西村敏彦	1889-1947	銅槌起七宝唐草文巻葉入	1926-45頃	七宝、鍛造、銅	国立工芸館
94		西村敏彦	1889-1947	銅七宝彩梅に鴛替喫煙具	1932頃	七宝、鍛造、銅	国立工芸館
95		安原喜明	1906-1980	照明器具	1931	陶器、ガラス	国立工芸館
96		内藤春治	1895-1979	壁面への時計	1927	鋳造、青銅	国立工芸館
97		内藤春治	1895-1979	壁面花挿	1929	鋳造、青銅	国立工芸館
98		北原千鹿	1887-1951	羊置物	1928	彫金、銀	国立工芸館
99		各務鑛三	1896-1985	飾皿 銘祈り	1929	グラヴュール、クリスタルガラス	岐阜県美術館
100		杉田禾堂	1886-1955	用途を指示せぬ美の創案 原始期・過渡期・完成期	1930	鍛造、鋳造、白銅、ブロンズ、真鍮、木	国立工芸館
101		増田三男	1909-2009	煙草入	1937	象嵌、鉄	国立工芸館

番号		作家名	生没年	作品名	制作年	技法、素材	所蔵
102		豊田勝秋	1897-1972	鋳銅広間用花さし	1933	鋳造、青銅	国立工芸館
103		北原千鹿	1887-1951	双魚衝立	1932	真鍮	国立工芸館
104		増田三男	1909-2009	からたちの花紋衝立	1940頃	象嵌、木、銅	国立工芸館
4章 'モード'の分化と拡散 I							
105		川﨑小虎	1886-1977	聖書を持つ少女	1912-16	紙本着色	岐阜県美術館
106		中川とも	1890-1982	放千鳥	1936-38	紙本着色	岐阜県美術館
107		小島一谿	1899-1974	平湯風景（仮題・右隻）	1920-30代	紙本着色	岐阜県美術館
108		伊東深水	1898-1972	椿	1920	紙本着色	岐阜県美術館
109		守屋多々志	1912-2003	噴水	1936	紙本着色	岐阜県美術館
110		大木秀春	1895-1968	想花帯留	1918-43頃	金消、銀	国立工芸館
111		大木秀春	1895-1968	金具 胡蝶	1918-43頃	金消、銅、赤銅	国立工芸館
112	○	杉浦非水	1876-1965	帯図案「薫る朝露」原画	1931頃	着色、鉛筆、紙	国立工芸館
113	●	杉浦非水	1876-1965	帯図案「空うつ浪」原画	1931頃	着色、鉛筆、紙	国立工芸館
114	○	杉浦非水	1876-1965	帯図案「萌る命」原画	1931頃	着色、鉛筆、紙	国立工芸館
115	●	杉浦非水	1876-1965	帯図案「みどりの眉」原画	1931頃	着色、鉛筆、紙	国立工芸館
116	○	杉浦非水	1876-1965	帯図案「ノートラ行進曲」原画	1931頃	着色、鉛筆、紙	国立工芸館
117	○	杉浦非水	1876-1965	帯図案「亂るゝ光」原画	1931頃	着色、鉛筆、紙	国立工芸館
118	●	杉浦非水	1876-1965	帯図案「オン・パレード」原画	1931頃	着色、鉛筆、紙	国立工芸館
119	●	杉浦非水	1876-1965	帯図案「モダンつなぎ」原画	1931頃	着色、鉛筆、紙	国立工芸館
120		不詳		コンパクト	1920-30代	卵殻、漆、金属	国立工芸館
121		不詳		口紅、シガレットケース、 コンパクトのセット	1920-30代	エナメル彩、鉄	国立工芸館
122		不詳		コンパクト	1920-30代	合成樹脂、模造宝石	国立工芸館
123		不詳		ブローチ	1920-30代	金属、合成樹脂	国立工芸館
124		不詳		ペンダント	1920-30代	金属、ガラス、模造宝石	国立工芸館
125		不詳		イヤリングとイヤリング掛け	1920-30代	七宝、金属、合成樹脂	国立工芸館
126	○	早川国彦	1897-1967	豊島園	1932-33	水彩、紙	岐阜県美術館
127		篠田柏邦	1883-1969	黄衣	1934	絹本着色	岐阜県美術館
4章 'モード'の分化と拡散 II							
128	●	竹久夢二	1884-1934	少年	1930-34頃	布、針金、毛糸	国立工芸館
129	○	竹久夢二	1884-1934	ピエロ	1930-34頃	紙、布、針金、糸	国立工芸館
130		日本農民美術研究所	1919-	蘇芳木文大飾皿	1922-39頃	漆、木	国立工芸館
131		日本農民美術研究所	1919-	朱漆パフ入れ	1922-39頃	漆、木	国立工芸館
132		日本農民美術研究所	1919-	朱漆枇杷文小箱	1922-39頃	漆、木	国立工芸館
133	●	長浜重太郎	1900-1983	子ども水遊び壁掛	1936-40頃	ろう染、綿	国立工芸館
134	○	長浜重太郎	1900-1983	水だまり和染壁掛	1941	ろう染、刺繍、麻	国立工芸館
135		富本憲吉	1886-1963	色絵葉模様帯留	1940	色絵、磁器	国立工芸館
136		富本憲吉	1886-1963	色絵五弁花模様（花椿模様）ブローチ	1940	色絵、磁器	国立工芸館

番号		作家名	生没年	作品名	制作年	技法、素材	所蔵
137		河井寛次郎	1890-1966	鳴壺	1918	陶器	国立工芸館
138		富本憲吉	1886-1963	白磁八角蓋付壺	1932	磁器	国立工芸館
139		富本憲吉	1886-1963	白磁珈琲器	1933	磁器	国立工芸館
140		富本憲吉	1886-1963	白磁八角大皿、小皿	1933-34頃	磁器	国立工芸館
141		初代松本佐吉	1884-1942	彩果文花瓶	1937	上絵付、金彩、磁器	国立工芸館
142		松田権六	1896-1986	片身替塗分漆椀	1939頃	漆、木	国立工芸館
143		磯矢阿伎良	1904-1987	バイオリン・ケース	1931	漆絵、漆	国立工芸館
144		磯矢阿伎良	1904-1987	はないかだ文様長手文庫	1934	蒔絵、漆	国立工芸館
145	●	広川松五郎	1889-1952	風呂先二曲屏風	1935-44頃	ろう染、絹	国立工芸館
147		増田三男	1909-2009	銀鉄野草紋箱	1940	象嵌、鉄、銀、木	国立工芸館
148		山崎覚太郎	1899-1984	喫煙具	1935頃	漆、金属	国立工芸館
149		村越道守	1901-1943	額面 栗鼠	1930代	金箔、鋳造、真鍮	国立工芸館
150		西村敏彦	1889-1947	胡桃鉢	1929	鋳造、青銅	国立工芸館
151		佐藤潤四郎	1907-1988	鍛鉄硝子吹込花瓶	1940	ガラス吹込み、鉄鍛造	国立工芸館
152		岩田藤七	1893-1980	彩色壺	1935	宙吹きガラス	国立工芸館
153		各務鑛三	1896-1985	瓜文皿	1937-38頃	グラヴュール、被せガラス、クリスタルガラス	岐阜県美術館
154		各務鑛三	1896-1985	花器	1947頃	カット、クリスタルガラス	岐阜県美術館
155		長野垤志	1900-1977	鳥飾花瓶	1951頃	鋳造、青銅	国立工芸館
156		染川鐵之助	1912-1982	青銅 このはづく	1955	鋳造、青銅	国立工芸館
157		林尚月斎	1911-1986	鉄脚盛器	1953頃	竹、鉄	国立工芸館
158		槻尾宗一	1915-1992	鉄花器	1954	鍛造/鋳造、鉄	国立工芸館
159		長縄士郎	1923-2021	店粧	1952	紙本着色	岐阜県美術館
4章 'モード'の分化と拡散III							
160	●	里見宗次	1904-1996	東洋へようこそ	1936	リトグラフ、紙	国立工芸館
161	●	伊藤憲治	1915-2001	リファインテックス	1950-53頃	オフセット印刷、紙	国立工芸館
162	○	山名文夫	1897-1980	第三回電気通信記念日	1952	オフセット印刷、紙	国立工芸館
163	●	東郷青児	1897-1978	後楽園全国争覇競輪	1950-53頃	オフセット印刷、紙	国立工芸館
164	○	大橋正	1916-1998	ミツワクリーム	1949	オフセット印刷、紙	国立工芸館
165	●	小磯良平	1903-1988	神戸博(1950)	1950	オフセット印刷、紙	国立工芸館
166	○	早川良雄	1917-2009	秀彩会	1951	オフセット印刷、紙	国立工芸館
167	●	レイモン・サヴィニャック	1907-2002	ベリグー(清涼飲料)	1955	リトグラフ、紙	国立工芸館
168	○	亀倉雄策	1915-1997	ニコンミクロン双眼鏡	1955	シルクスクリーン、紙	国立工芸館

—モンスーンに吹かれたように—
大移動と交流のアフリカ-アジアの現代美術

出品番号	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法／上映時間 [cm / 分、秒]	所蔵
交流の証：堺市博物館コレクション						
A1 [後期展示]		南蛮屏風	桃山時代	紙本着色	各 161.7×376.9	堺市博物館
A2 [前期展示]		相撲遊楽図屏風	江戸時代	紙本着色	約 133.0×336.0	堺市博物館
A3 [前期展示]		異国人物図巻	江戸時代	絹本着色	32.0×598.0 / 34.0×575.0	堺市博物館
ワンゲシ・ムトゥ						
B1	ワンゲシ・ムトゥ	子宮腫瘍のさまざまなクラスの組織学	2004-05	グリッター、インク、コラージュ、医療用挿絵の描かれた紙	12点1組 各 59.1×43.5×4.4	
B2	ワンゲシ・ムトゥ	エイリアン・オー・V	2003	インク、コラージュ、密着印画紙、マイラー	61.0×44.5	タグチアートコレクション／タグチ現代芸術基金
B3	ワンゲシ・ムトゥ	ルート・オブ・オール・イブ	2010	ミクストメディア、インク、塗料、コラージュ、マイラー	233.7×135.3	タグチアートコレクション／タグチ現代芸術基金
B4	ワンゲシ・ムトゥ	アメイジング・グレイス	2005	シングルチャネル、カラー、ステレオ	07' 06"	作家蔵
B5	ワンゲシ・ムトゥ	あらゆるものを食らうはてに	2013	シングルチャネル、カラー、ステレオ	08' 10"	作家蔵
吉國 元						
C1	吉國 元	来者たち	2018-	色鉛筆、紙	サイズ可変	作家蔵
C2	吉國 元	『MOTOマガジン』他、資料				作家蔵
C3	吉國 元	『MOTOマガジン』挿絵原画　4点	2022-23	色鉛筆、紙	計4点 各 53.9×38.0	作家蔵
武器をアートに：国立民族学博物館コレクション						
D1	フィエル・ドス・サントス	フルート奏者	2012	鉄	71.0×38.0×39.0	国立民族学博物館
D2	クリストヴァオ・カニャヴァート（ケスター）	ギター奏者	2012	鉄	63.0×41.0×42.0	国立民族学博物館
なみちえ						
E1	なみちえ	隠れるための顔	2025	人毛、染料、絹紐	16.0×15.0×3.0	作家蔵
E2	なみちえ	ミュージックビデオ集	2024-26	デジタルビデオ、カラー、ステレオ	11' 30"	作家蔵
E3	なみちえ	何ちえ（「Kigroom」より）	2016	フェイクファー、ウレタン、レジン	170.0×170.0×60.0	作家蔵
E4	なみちえ	アートレス（無邪気なドラゴン）（「Kigroom」より）	2016	フェイクファー、ウレタン、レジン	170.0×100.0×100.0	作家蔵
E5	なみちえ	こあ（心に愛のある犬）（「Kigroom」より）	2023	フェイクファー、ウレタン、レジン	190.0×70.0×60.0	作家蔵
マフディ・エシャーエイ						
F1	マフディ・エシャーエイ	サフィーエ、マスーメ、ゼイナブ／ティアブ（「アフロ - イラン」より）	2014	インクジェットプリント	60.9×40.6	作家蔵
F2	マフディ・エシャーエイ	ザフラとスブハーン／ナシラーイー（「アフロ - イラン」より）	2014	インクジェットプリント	60.9×40.6	作家蔵
F3	マフディ・エシャーエイ	モハンマド・アリー／ハージェ・アタ、バンダレ・アッバース（「アフロ - イラン」より）	2014	インクジェットプリント	60.9×40.6	作家蔵

出品番号	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法／上映時間 [cm / 分、秒]	所蔵
F4	マフディ・エシャーエイ	サナズ／木曜市、ミーナーブ（「アフロ - イラン」より）	2014	インクジェットプリント	60.9×40.6	作家蔵
F5	マフディ・エシャーエイ	ホセイン／ハージェ・アタ、バンダレ・アッバース（「アフロ - イラン」より）	2014	インクジェットプリント	60.9×40.6	作家蔵
F6	マフディ・エシャーエイ	アーミーンとレザ／ガーダー・カーニ（「アフロ - イラン」より）	2014	インクジェットプリント	60.9×40.6	作家蔵
F7	マフディ・エシャーエイ	ハージェ・アタ、バンダレ・アッバース（「アフロ - イラン」より）	2014	インクジェットプリント	40.6× 60.9	作家蔵
F8	マフディ・エシャーエイ	エブラヒームと子どもたち / ハージェ・アタ、バンダレ・アッバース（「アフロ - イラン」より）	2014	インクジェットプリント	60.9×40.6	作家蔵
F9	マフディ・エシャーエイ	木曜市、ミーナーブ（「アフロ - イラン」より）	2014	インクジェットプリント	40.6× 60.9	作家蔵
F10	マフディ・エシャーエイ	メフディー／木曜市、ミーナーブ（「アフロ - イラン」より）	2014	インクジェットプリント	60.9×40.6	作家蔵
F11	マフディ・エシャーエイ	ホルモズガーン州南部のアフロ＝イラン人コミュニティの音声記録	2014		17' 24"	作家蔵
石川 真生						
G1	石川 真生	「アカバナー」より	1975-77	ゼラチンシルバープリント	計8点 40.6×50.8 / 50.8×40.6	作家蔵
G2	石川 真生	沖縄でバイレイシャル（ミックスルーツ）として生きること（「大琉球写真絵巻」より）	2021	インクジェットプリント	40.6×50.8	作家蔵
チェ・ウォンジュン						
H1	チェ・ウォンジュン	ナイジェリアのジェニファーとジョンと韓国生まれの子どもたち、東豆川（「キャピタル・ブラック」より）	2021	インクジェットプリント	55.0×73.0	作家蔵
H2	チェ・ウォンジュン	ナイジェリアのローレンスとンゴジと韓国生まれの子どもたち、東豆川（「キャピタル・ブラック」より）	2021	インクジェットプリント	55.0×69.0	作家蔵
H3	チェ・ウォンジュン	ナイジェリアのネルソンとエルマと韓国生まれの子どもたち、東豆川（「キャピタル・ブラック」より）	2021	インクジェットプリント	55.0×69.0	作家蔵
H4	チェ・ウォンジュン	ナイジェリアのウニとウィルフレッドと、韓国生まれの子たち、ソウル（「キャピタル・ブラック」より）	2021	インクジェットプリント	55.0×73.0	作家蔵
H5	チェ・ウォンジュン	三姉妹、坡州（「キャピタル・ブラック」より）	2021	インクジェットプリント	75.0×56.0	作家蔵
H6	チェ・ウォンジュン	チエメリとエディ、東豆川（「キャピタル・ブラック」より）	2021	インクジェットプリント	75.0×56.0	作家蔵
H7	チェ・ウォンジュン	エリム教会（「キャピタル・ブラック」より）	2021	インクジェットプリント	75.0×73.0	作家蔵
H8	チェ・ウォンジュン	ノー・ペイン・ノー・ゲイン	2023	シングルチャネル、カラー、ステレオ	04' 39"	作家蔵
H9	チェ・ウォンジュン	東豆川ニュータウン	2024	シングルチャネル、カラー、ステレオ	27' 02"	作家蔵
長谷川 愛						
I1	長谷川 愛	Alt-Bias Gun	2018	モデルガン、PC、ゴーグル	サイズ可変	作家蔵

出品番号	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法／上映時間 [cm / 分、秒]	所蔵
ジョエル・アンドリアノメアリソア						
J1	ジョエル・アンドリアノメアリソア	「風の宮殿」	2026	布（着物）、インク、紙（パネル貼り）	計12点 各195.0×135.0×5.0	作家蔵
J2	ジョエル・アンドリアノメアリソア	ある自画像についての観念 XII	2024	テキスタイル、キャンヴァス	60.0×50.0×5.0	個人蔵
エリアス・シメ						
K1	エリアス・シメ	タイトロープ・モバイル	2009-14	再生電子ワイヤー、パネル	274.3×325.1	タグチアートコレクション／タグチ現代芸術基金
ティンガ・ティンガ派：岐阜県美術館コレクション						
L1	オマリ・アロイス・アモンデ	樹にとまるペリカン	1992	エナメル、ボード	29.2×30.5	岐阜県美術館
L2	ジョージ・リランガ	彼は白人を怖がっていたから白人に気に入られた／白い人を見て驚いてひっくりかえった	1990	エナメル、ボード	40.2×41.5	岐阜県美術館
L3	アブダル・A. ムクラ	作品名不詳	制作年不詳	エナメル、ボード	30.1×30.5	岐阜県美術館
L4	ムラポニ	漁師と魚売り	制作年不詳	エナメル、ボード	30.3×30.5	岐阜県美術館
L5	サルム・ムサ	羽を広げた孔雀	制作年不詳	エナメル、ボード	60.7×61.0	岐阜県美術館





1-3 共催展など

令和７年度岐阜県青少年美術展

2025/7/5［土］－ 7/13［日］

青少年への美術の普及のため、広く県内から作品を公募し、一般に公開する展覧会。青年部と少年部があり、青年部は絵画、デザイン、立体造形、書道、写真の５部門、少年部は絵画・デザイン、書写の２部門を公募した。青年部は部門ごと、少年部は、各部門の学年ごとに、最優秀賞、優秀賞、入選を選定し、最優秀賞受賞者の表彰式を行った。
また、部門や学年の枠にとらわれず、日比野克彦美術館長の感性を刺激した作品を「ナンヤローネ賞」として選定した。
スマートフォンやタブレットなどから展示会場を体験できる3Dバーチャル美術展も公開した。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室3,4
・入 場 料：無料
・主　　催：岐阜県
・後　　援：岐阜県教育委員会
　　岐阜県高等学校文化連盟
・応 募 数：青年部　1,288点
　　少年部　36,189点
・展 示 数：青年部　270点
　　少年部　779点
・岐阜県美術館長選定賞「ナンヤローネ賞」：50点



第６回ぎふ美術展

2025/8/9［土］－ 8/24［日］

今回で６回目の開催となる公募展。各分野の第一人者が審査員となり、選んだ作品を展示した。会期中には、審査員によるトークイベント等も開催した。併せて、3Dバーチャル美術展も公開した。
総応募点数は780点、入賞・入選数は308点。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室3,4、多目的ホール
・入 場 料：無料
・主　　催：岐阜県・岐阜県美術館、
　　公益財団法人岐阜県教育文化財団

審査員

・日 本 画：岩田壮平（日本画家、武蔵野美術大学教授）
　　鬼頭美奈子（名都美術館学芸課長）
・洋　　画：水沢勉（美術史家、美術評論家）
　　柳澤紀子（美術家、版画家）
・彫　　刻：建畠晢（草間彌生美術館館長）
　　宮永愛子（美術家）
・工　　芸：花里麻理（茨城県陶芸美術館学芸課長）
　　森野泰明（陶芸家、日本芸術院会員）
・書　　：黒田賢一（書家、日本芸術院会員、日展副理事長）
　　沢村澄子（書家）
・写　　真：鈴木理策（写真家、東京藝術大学教授）
　　竹内万里子（写真批評家、京都芸術大学教授）
・自由表現：曽谷朝絵（美術家）
　　堀越英嗣（建築家、東京藝術大学客員教授、芝浦工業大学名誉教授）



第37回全国健康福祉祭ぎふ大会
ねんりんピック岐阜2025美術展
2025/10/18［土］－ 10/21［火］

「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方を中心に、あらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができるスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典である。
日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門を設けて、公募した作品のうち、各部門の審査員によって特に優秀と認められたものに賞を授与した。
総応募点数は502点、入賞・入選数は72点。

概要

・会　　場：岐阜県美術館　展示室3,4、
　　岐阜県図書館(岐阜市)
・入 場 料：無料
・主　　催：厚生労働省、岐阜県、
　　(一財) 長寿社会開発センター
・共　　催：スポーツ庁

審査員

・日 本 画：瀬永能雅(名古屋芸術大学教授)
　　長谷川喜久(公益社団法人日展特別会員、名古屋芸術大学教授)
・洋　　画：遠藤彰子(武蔵野美術大学理事・名誉教授)
　　傍島幹司(名古屋芸術大学名誉教授)
・彫　　刻：楠元香代子(鹿児島市立美術館館長)
　　土屋明之(岐阜県芸術文化会議会長)
・工　　芸：秋山陽(京都市立芸術大学名誉教授)
　　正村美里(岐阜県美術館副館長)
・書　　：近藤浩乎(玄之会理事長、公益社団法人日展会員)
　　伊藤仙游(公益社団法人日展会員、岐阜県書作家協会会長)
・写　　真：榎並悦子(全日本写真連盟副会長)
　　加藤徹(全日本写真連盟岐阜県本部委員長、一般社団法人二科会写真部会員)

1-4 アーティスト・イン・ミュージアム[AiM]

アーティスト・イン・ミュージアムは、アーティストを招聘して公開制作、作品展示を行う、いわゆるアーティスト・イン・レジデンス事業である。来場者がアーティストの制作現場を間近に見て、時には一緒に制作を体験し、さらに完成した作品を鑑賞することで、アートをより身近に感じてもらうことを目的としている。

アーティスト・イン・ミュージアム AiM Vol.17 ニュー銀座堂

公開制作　2025/4/19［土］- 5/24［土］
作品展示　2025/5/25［日］- 5/31［土］

ニュー銀座堂•代表の渡邉百恵が岐阜柳ヶ瀬商店街で運営する「表現者のためのサードプレイス」を、岐阜県美術館アトリエに転位させる試み。
渡邉と10〜20代の若者らの手によって、アートや創作に関する雑談や交流ができる場を創出した。「コタツ」の設置や音楽ライブ等によって、美術館を訪れる機会の少ない人々の関心を惹き、新たな来館者を獲得した。

参加作家（13組16名）
ipei/ カワセマコ/ Mana Umezawa/ 平山亮太/ 宮本奏詩/ 新井謙成/ 白岩敬悟/ junya/ Gabi/ yuta/ 新藤さくら/ 菅原唯斗/ yama no kage（成瀬寛多、齋藤達希、妹尾亮太、深見悠太）

概要

・会　　場：岐阜県美術館 アトリエ
・観 覧 料：無料
・観覧者数：1,879人





アーティスト・イン・ミュージアム AiM Vol.18　向井大祐

公開制作　2025/10/30［木］- 12/14［日］

古典技法を使いこなし、その研究にも関わる岐阜市出身の日本画家の公開制作。美濃和紙や各務原産の絵絹を用いた制作過程の実演に加えて、ドラマや映画における筆遣い指導、劇中画制作の経験談が好評で、AiM史上最多の来場者数を記録。また、所蔵品の川合玉堂《野末の秋》の熟覧調査を行い、忠実な模写を体験できるワークショップも開催した。

概要

・会　　場：岐阜県美術館 アトリエ
・観 覧 料：無料
・観覧者数：2,681人



